

ユーザーダッシュボードマニュアル

オープンソース ソリューション専門企業

株式会社アンコウソフト

目次

1. 機能紹介	3
1.1 進捗現況チャート	3
1.2 遅延チケット	4
1.3 期日直前チケット	4
1.4 参加プロジェクト	4
2. インストールと支援環境	5
2.1 インストールと支援環境	5
3. プラグインのインストールとアンインストール	6
2.1 インストール (Linux 系列)	6
2.2 アンインストール (Linux 系列)	7
2.3 インストール (Windows 系列)	8
2.4 アンインストール (Windows 系列)	11
2.5 インストールしたプラグインのバージョン確認	12
4. 設定	13
3.1 プラグイン	13
4.2 ライセンスの登録	22
5. 機能説明	23
4.1 ユーザー閲覧	23
4.2 ダッシュボード表示	24
4.3 閲覧モード	31
4.4 マイページでのダッシュボード設定	34
6. 制限事項	36

1. 機能紹介

1.1 進捗現況チャート

- 1) ユーザー別に担当しているプロジェクトの進捗を可視化して現在の進捗状態を把握できるようにします。
- 2) 「進捗率推移」は、計画に対する実績の推移を日付軸で表示します。
- 3) 「ステータス別現況」はチケットのステータス別件数を表示して、件数をクリックすると該当一覧を表示します。
- 4) 「遅延率」は、計画対比実績を、遅延完了を含んで表示し、未進捗は現在まで計画した通りに進捗していない件数を表示して、件数をクリックすると該当一覧を表示します。



<進捗現況チャート画面>

1.2 遅延チケット

- 1) 期日までに完了できなかった遅延チケットの一覧を表示します。

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
26	WBS	進行中	高め	競合相手进行评估する	ANKO SOFT	2021/10/19 16:47	2021/10/11	100%
150	バグ	進行中	高め	利益性进行评估する	ANKO SOFT	2021/11/09 23:57	2021/09/18	90%
151	バグ	進行中	高め	戦略进行评估する	ANKO SOFT	2021/11/09 23:57	2021/09/17	90%
77	機能	進行中	高め	ビジネス ビジョンを定義する	ANKO SOFT	2021/11/06 00:26	2021/08/09	90%

<遅延チケット画面>

1.3 期日直前チケット

- 1) 当日を基準として今後一週間以内に期日を迎えるチケットの一覧を表示します。

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
17	WBS	進行中	通常	スキルを特定する	ANKO SOFT	2021/11/06 00:24	2021/11/17	100%
22	WBS	進行中	低め	必要なリソースを特定する	ANKO SOFT	2021/11/06 00:24	2021/11/17	100%
115	機能	新規	通常	フェーズ 1: 機会の定義	ANKO SOFT	2021/09/17 19:10	2021/11/23	90%
114	機能	新規	通常	次段階へと移行するかどうかを決定する	ANKO SOFT	2021/09/17 19:10	2021/11/19	90%
113	機能	新規	通常	スキルを特定する	ANKO SOFT	2021/09/17 19:10	2021/11/19	90%
187	WBS	新規	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/10/18 00:55	2021/11/17	40%

(1-6/6)

<期日直前チケット画面>

1.4 参加プロジェクト

- 1) ユーザーが参加しているプロジェクト別に計画上の累積進捗率、実績での累積進捗率、達成率、未完了チケット件数、完了チケット件数、合計チケット件数と、自分が担当している未完了チケット一覧を表示します。

進捗度			未完了/完了別現況			全体達成率 (38.2%)		
計画	実績	達成率	未完了(遅延)	完了	合計			
98.4	37.6	38.2	4(2)	2	6			
#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
188	WBS	進行中	高め	競合相手进行评估する	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	40%
189	WBS	進行中	通常	必要なリソース进行评估する(東京、名古屋、大阪)	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	20%
187	WBS	新規	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/10/17 15:55	2021/11/17	40%
185	WBS	解決	低め	対談を行う	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/15	40%

<参加プロジェクト画面>

2. インストールと支援環境

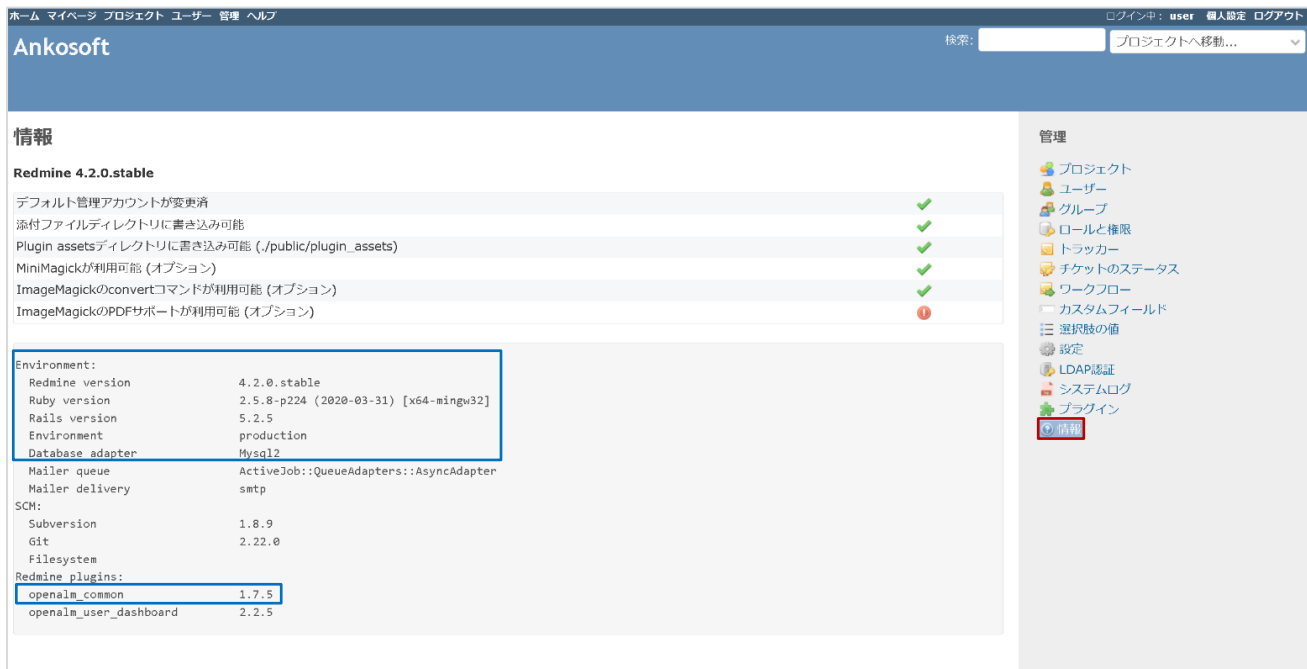
2.1 インストールと支援環境

- 1) 本製品をインストールして使用するためには下記の環境が必要です。本製品をインストールする前にインストール先環境と支援環境が正しいことをご確認ください。

区分	種別	種類とバージョン	備考
インストール	Redmine	3.x ~ 4.2	
	Redmine	2.0 ~ 2.7	
	Database	Mysql、MariaDB、Postgresql、Microsoft SQL Server	
	Plugins	Openalm Common 1.7.5 以上	本製品と一緒に提供します。
支援環境	Browsers	Chrome、Safari、Edge、Firefox	IE はサポートをしません、IE11 では動作することを確認しています。

- 2) プラグインのインストール環境の確認方法はシステム管理者で Redmine にログイン後、「管理」->「情報」で確認できます。

* ユーザーのアクションが必要な場合は で表示し、結果と参照を示す場合は で表示します。



＜プラグインのインストール環境の確認画面＞

3. プラグインのインストールとアンインストール

3.1 インストール (Linux 系列)

- 1) インストール環境は顧客の環境によって異なるため、パスなどは顧客環境に読み替えて適用してください。例示では bitnami を使って Redmine をインストールした場合のプラグインのインストール方法で説明します。
- 2) 弊社から提供する圧縮ファイルを下記のパスに解凍してください。

解凍先パス: {REDMINE_ROOT}/plugins

もし `openalm_common` がすでに Redmine にインストールされている場合、インストールされている `openalm_common` と弊社が提供する `openalm_common` のバージョンが同一の場合は、`openalm_common` を新たにインストールする必要がありません。`openalm_common` のファイル名のアンダーバーより右側の数字がバージョンを意味します。

例) ファイル名が「`openalm_common_1.7.5.zip`」の場合、「1.7.5」がバージョンです。

```
#cd /opt/redmine-xxx
#./use_redmine
#cp openalm_common_x.x.x.zip /opt/redmine-xxx/apps/redmine/htdocs/plugins (すでに同一のバージョンがインストールされている場合は省略します。)
#cp openalm_user_dashboard_x.x.x.zip /opt/redmine-xxx/apps/redmine/htdocs/plugins
#cd /opt/redmine-xxx/apps/redmine/htdocs/plugins
#unzip openalm_common_x.x.x.zip (すでに同一のバージョンがインストールされている場合は省略します。)
#unzip openalm_user_dashboard_x.x.x.zip
```

- 3) DB にテーブルを生成します。

```
#cd /opt/redmine-xxx/apps/redmine/htdocs
#bundle exec rake redmine:plugins:migrate RAILS_ENV=production
== 20200205035655 CreateOpenalmCommonHolidays: migrating =====
-- create_table(:openalm_common_holidays, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0320s
== 20200205035655 CreateOpenalmCommonHolidays: migrated (0.0324s) =====

== 20200618054704 CreateOpenalmEmailTemplates: migrating =====
-- create_table(:openalm_email_templates, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0384s
== 20200618054704 CreateOpenalmEmailTemplates: migrated (0.0389s) =====

== 20200622040653 CreateOpenalmUpdateErrorLogs: migrating =====
-- create_table(:openalm_update_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0397s
== 20200622040653 CreateOpenalmUpdateErrorLogs: migrated (0.0402s) =====

== 20200622040913 CreateOpenalmEtcErrorLogs: migrating =====
-- create_table(:openalm_etc_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0433s
== 20200622040913 CreateOpenalmEtcErrorLogs: migrated (0.0444s) =====

== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalmEmailTemplates: migrating =====
-- add_column(:openalm_email_templates, :email_subject_type, :string, {:default=>"template"})
  -> 0.0679s
== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalmEmailTemplates: migrated (0.0687s) ==

== 1 CreateOpenalmUserDashboardViewsettings: migrating =====
-- create_table(:openalm_user_dashboard_viewsettings, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0414s
```

```

== 1 CreateOpenalMUserDashboardViewsettings: migrated (0.0427s) =====
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalMUserDashboardViewsettings: migrating ===
-- add_column(:openal_m_user_dashboard_viewsettings, :watcher_id, :integer, {})
  -> 0.0649s
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalMUserDashboardViewsettings: migrated (0.0663s)

```

- 4) エラーが発生しないで正常に実行できたら web サーバーを再起動させることによってインストールが完了します。

```

#cd /opt/redmine-xxx
#./ctlscript.sh restart apache

```

3.2 アンインストール(Linux 系列)

- 1) 「openal_m_user_dashboard」プラグインで使用するテーブルを DB から削除します。テーブル削除後は関連データを復元することはできません。

```

#cd /opt/redmine-xxx
#./use_redmine
#cd /opt/redmine-xxx/apps/redmine/htdocs
#bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=openal_m_user_dashboard VERSION=0 RAILS_ENV=production
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalMUserDashboardViewsettings: reverting ===
-- remove_column(:openal_m_user_dashboard_viewsettings, :watcher_id, :integer, {})
  -> 0.0601s
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalMUserDashboardViewsettings: reverted (0.0664s)

== 1 CreateOpenalMUserDashboardViewsettings: reverting =====
-- drop_table(:openal_m_user_dashboard_viewsettings, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0101s
== 1 CreateOpenalMUserDashboardViewsettings: reverted (0.0111s) =====

```

- 2) 「openal_m_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除します。テーブル削除後は関連データを復元することはできません。弊社から購入した他のプラグインがある場合は「openal_m_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除しないでください。「openal_m_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除すると弊社から購入した他のプラグインが動作しなくなる場合があります。もし「openal_m_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除しない場合でも Redmine には影響を与えません。

```

#bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=openal_m_common VERSION=0 RAILS_ENV=production
== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalMEmailTemplates: reverting =====
-- remove_column(:openal_m_email_templates, :email_subject_type, :string, {:default=>"template"})
  -> 0.1061s
== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalMEmailTemplates: reverted (0.1111s) ==
== 20200622040913 CreateOpenalMetcErrorLogs: reverting =====
-- drop_table(:openal_m_etc_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0297s
== 20200622040913 CreateOpenalMetcErrorLogs: reverted (0.0299s) =====
== 20200622040653 CreateOpenalMupdateErrorLogs: reverting =====
-- drop_table(:openal_m_update_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0180s
== 20200622040653 CreateOpenalMupdateErrorLogs: reverted (0.0183s) =====
== 20200618054704 CreateOpenalMEmailTemplates: reverting =====
-- drop_table(:openal_m_email_templates, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0088s
== 20200618054704 CreateOpenalMEmailTemplates: reverted (0.0090s) =====
== 20200205035655 CreateOpenalMCommonHolidays: reverting =====
-- drop_table(:openal_m_common_holidays, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
  -> 0.0146s

```

```
== 20200205035655 CreateOpenalmCommonHolidays: reverted (0.0148s) =====
```

3) プラグインフォルダーを削除します。

```
#cd plugins
#rm -rf openalm_user_dashboard
#rm -rf openalm_common (「openalm_common」プラグインを残す必要がある場合は実施をしません。)
```

4) エラーがなく正常に実行されたら、web サーバーを再起動するとアンインストールが完了します。

```
#cd /opt/redmine-xxx
#./ctlscrip.sh restart apache
```

3.3 インストール (Windows 系列)

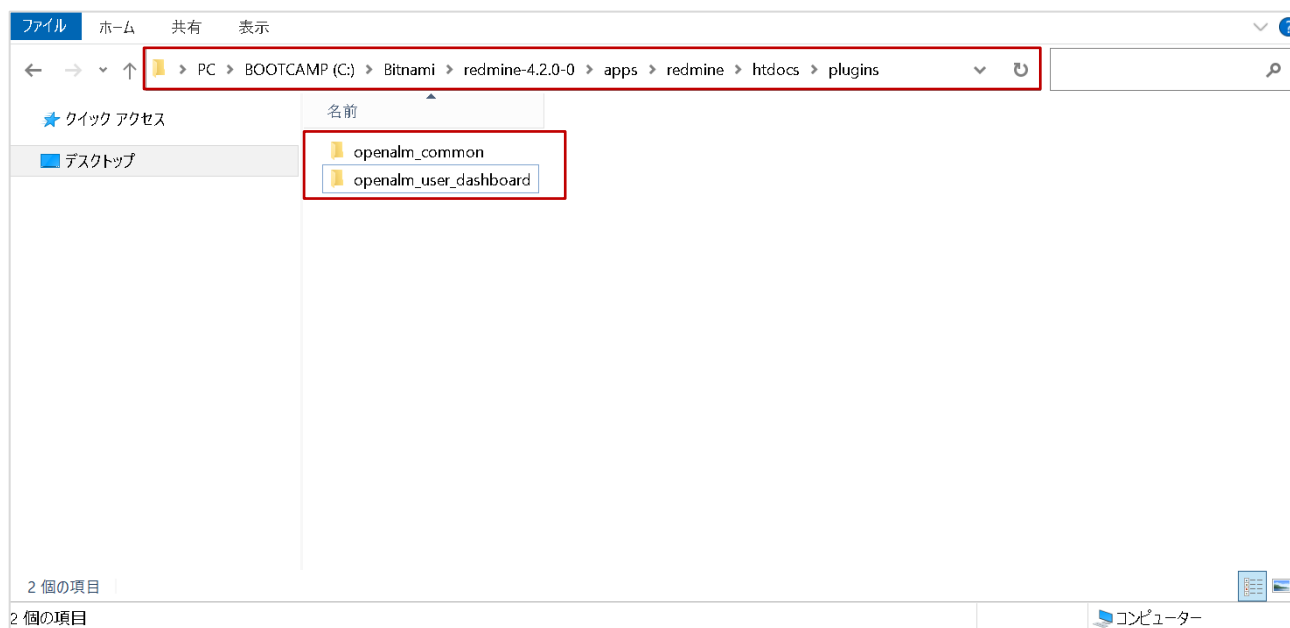
- 1) インストール環境は顧客の環境によって異なるため、パスなどは顧客環境に読み替えて適用してください。例示では bitnami を使って Redmine をインストールした場合のプラグインのインストール方法で説明します。
- 2) 弊社から提供する圧縮ファイルを下記のパスに解凍してください。

解凍先パス: {REDMINE_ROOT}/plugins

もし openalm_common がすでに Redmine にインストールされている場合、インストールされている openalm_common と弊社が提供する openalm_common のバージョンが同一の場合は、openalm_common を新たにインストールする必要がありません。openalm_common のファイル名のアンダーバーより右側の数字がバージョンを意味します。

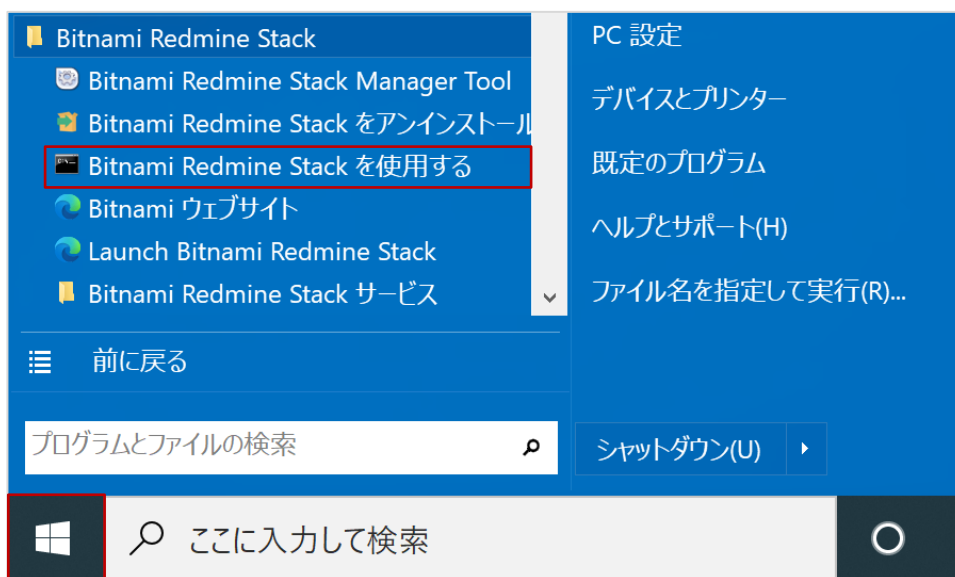
例) ファイル名が「openalm_common_1.7.5.zip」の場合、「1.7.5」がバージョンです。

「C:\%Bitnami%\redmine-4.2.0-0\apps%\redmine\htdocs%\plugins%」(このフォルダパスは環境により異なります。)に「openalm_common」と「openalm_user_dashboard」の2つのフォルダーをコピーします



<プラグインインストールフォルダー>

- 3) Windows の「スタート」 ボタンをクリックして、「Bitnami Redmine Stack」の中の「Bitnami Redmine Stack を使用する」をクリックします。



<「Bitnami Redmine Stack を使用する」画面>

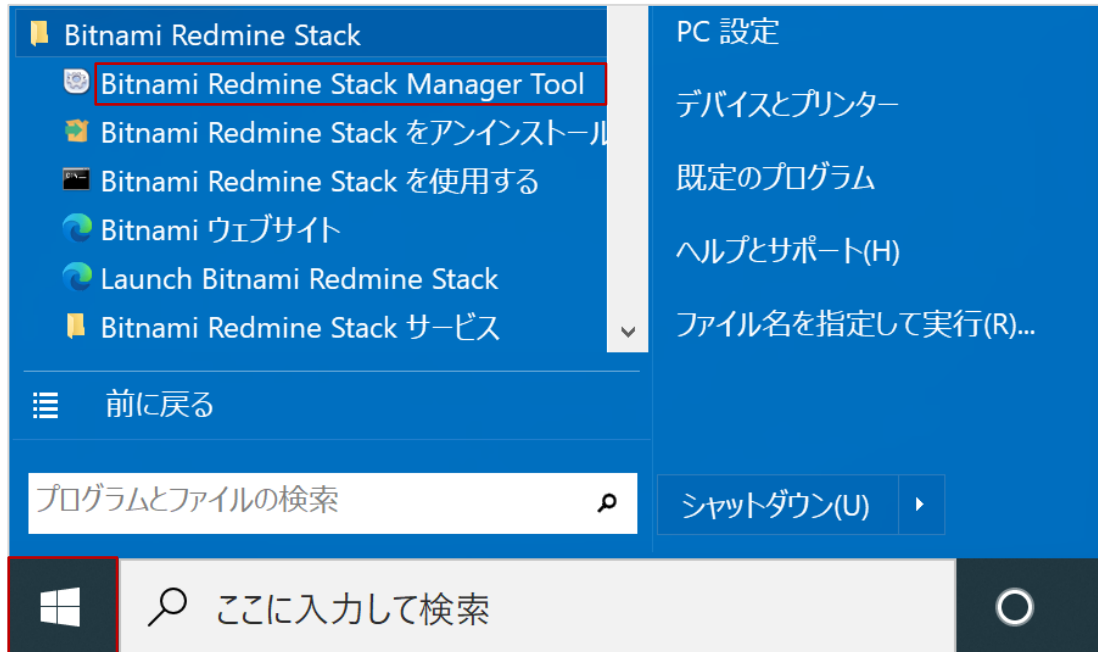
- 4) コマンドプロンプトが起動しますので、「bundle exec rake redmine:plugins:migrate RAILS_ENV=production」を実行します。下図のように「AddWatcherIdToOpenalUserDashboardViewsettings」などの文字が表示されればDB にテーブルが正常に生成されたこととなります。

```
Microsoft Windows [Version 10.0.19042.1288]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Bitnami\redmine-4.2.0-%apps%\redmine%\htdocs> bundle exec rake redmine:plugins:migrate RAILS_ENV=production
== 20200205035655 CreateOpenalCommonHolidays: migrating =====
-- create_table(:openal_common_holidays, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0320s
== 20200205035655 CreateOpenalCommonHolidays: migrated (0.0324s) =====
== 20200618054704 CreateOpenalEmailTemplates: migrating =====
-- create_table(:openal_email_templates, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0384s
== 20200618054704 CreateOpenalEmailTemplates: migrated (0.0389s) =====
== 20200622040653 CreateOpenalUpdateErrorLogs: migrating =====
-- create_table(:openal_update_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0397s
== 20200622040653 CreateOpenalUpdateErrorLogs: migrated (0.0402s) =====
== 20200622040913 CreateOpenalEtcErrorLogs: migrating =====
-- create_table(:openal_etc_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0433s
== 20200622040913 CreateOpenalEtcErrorLogs: migrated (0.0444s) =====
== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalEmailTemplates: migrating =====
-- add_column(:openal_email_templates, :email_subject_type, :string, {:default=>"template"})
-> 0.0679s
== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalEmailTemplates: migrated (0.0687s) ==
== 1 CreateOpenalUserDashboardViewsettings: migrating =====
-- create_table(:openal_user_dashboard_viewsettings, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0414s
== 1 CreateOpenalUserDashboardViewsettings: migrated (0.0427s) =====
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalUserDashboardViewsettings: migrating ==
-- add_column(:openal_user_dashboard_viewsettings, :watcher_id, :integer, {})
-> 0.0649s
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalUserDashboardViewsettings: migrated (0.0663s)
```

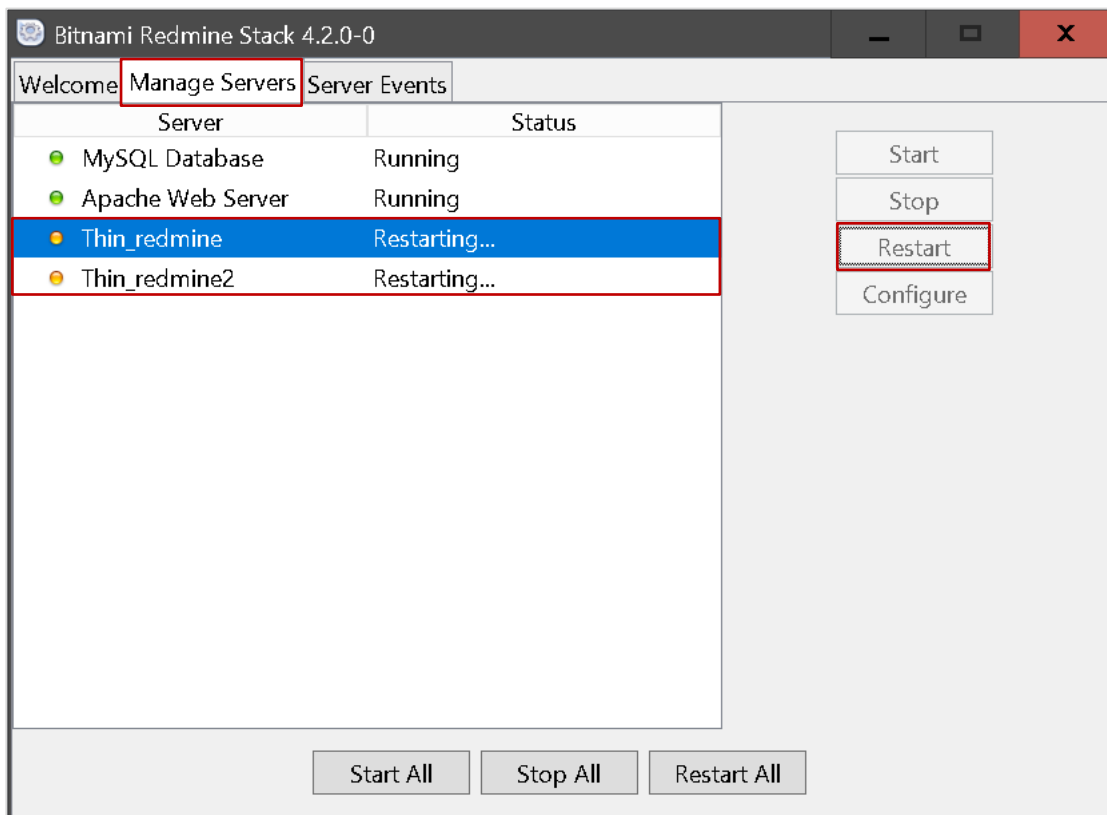
<テーブル生成完了画面>

- 5) Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「Bitnami Redmine Stack」の中の「Bitnami Redmine Stack Manager Tool」をクリックして実行します。



< 「Bitnami Redmine Stack Manager Tool」 クリック画面 >

- 6) 「Manage Servers」タブで、「Thin_redmine」と「Thin_redmine2」を選択して「Restart」ボタンをクリックして再起動させます。



< 「Thin_redmine」と「Thin_redmine2」の再起動画面 >

3.4 アンインストール(Windows 系列)

- 1) インストール環境は顧客の環境によって異なるため、パスなどは顧客環境に読み替えて適用してください。例示では bitnami を使って Redmine をインストールした場合のプラグインのアンインストール方法で説明します。
- 2) 「openalm_user_dashboard」プラグインで使用するテーブルを DB から削除します。テーブル削除後は関連データを復元することはできません。
項目「3.3.3)」で説明をした「Bitnami Redmine Stack」をクリックして、「bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=openalm_user_dashboard VERSION=0 RAILS_ENV=production」を実行します。下図のように「1 CreateOpenalmUserDashboardViewsettings: reverted」などの文字が表示されれば DB からテーブルが正常に削除されたことになります。

```
Microsoft Windows [Version 10.0.19042.1288]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Bitnami\redmine-4.2.0\apps\redmine\htdocs>bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=openalm_user_dashboard VERSION=0 RAILS_ENV=production
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalmUserDashboardViewsettings: reverting ==
-- remove_column(:openalm_user_dashboard_viewsettings, :watcher_id, :integer, {})
-> 0.0601s
== 20200413011931 AddWatcherIdToOpenalmUserDashboardViewsettings: reverted (0.0664s)

== 1 CreateOpenalmUserDashboardViewsettings: reverting =====
-- drop_table(:openalm_user_dashboard_viewsettings, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0101s
== 1 CreateOpenalmUserDashboardViewsettings: reverted (0.0111s) =====

C:\Bitnami\redmine-4.2.0\apps\redmine\htdocs>
```

<テーブル削除完了画面>

- 3) 「openalm_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除します。テーブル削除後は関連データを復元することはできません。弊社から購入した他のプラグインがある場合は「openalm_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除しないでください。「openalm_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除すると弊社から購入した他のプラグインが動作しなくなる場合があります。もし「openalm_common」プラグインで使用するテーブルを DB から削除しない場合でも Redmine には影響を与えません。
項目「3.3.3)」で説明をした「Bitnami Redmine Stack」をクリックして、「bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=openalm_common VERSION=0 RAILS_ENV=production」を実行します。下図のように「CreateOpenalmCommonHolidays: reverted」などの文字が表示されれば DB からテーブルが正常に削除されたことになります。

```
Microsoft Windows [Version 10.0.19042.1288]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Bitnami\redmine-4.2.0\apps\redmine\htdocs>bundle exec rake redmine:plugins:migrate NAME=openalm_common VERSION=0 RAILS_ENV=production
== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalmEmailTemplates: reverting =====
-- remove_column(:openalm_email_templates, :email_subject_type, :string, {:default=>"template"})
-> 0.0615s
== 20201005073351 AddEmailSubjectToOpenalmEmailTemplates: reverted (0.0731s) ==

== 20200622040913 CreateOpenalmEtcErrorLogs: reverting =====
-- drop_table(:openalm_etc_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0085s
== 20200622040913 CreateOpenalmEtcErrorLogs: reverted (0.0089s) =====

== 20200622040653 CreateOpenalmUpdateErrorLogs: reverting =====
-- drop_table(:openalm_update_error_logs, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0094s
== 20200622040653 CreateOpenalmUpdateErrorLogs: reverted (0.0098s) =====

== 20200618054704 CreateOpenalmEmailTemplates: reverting =====
-- drop_table(:openalm_email_templates, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0083s
== 20200618054704 CreateOpenalmEmailTemplates: reverted (0.0087s) =====

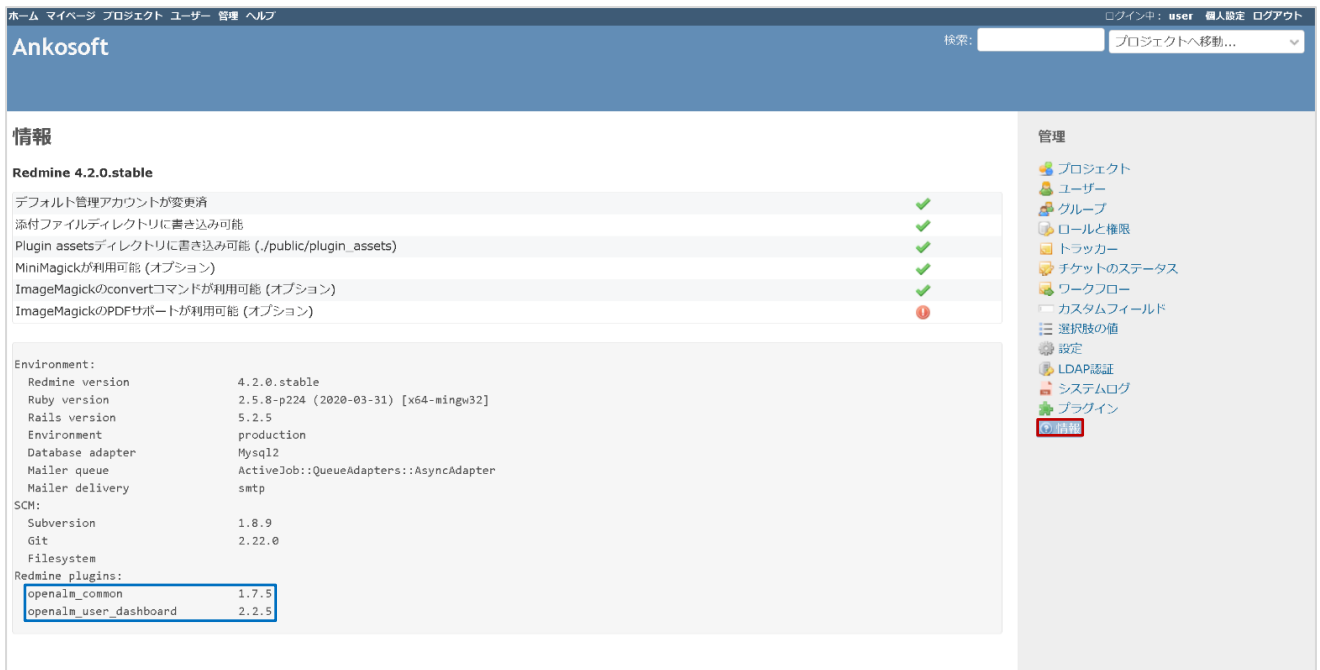
== 20200205035655 CreateOpenalmCommonHolidays: reverting =====
-- drop_table(:openalm_common_holidays, {:options=>"ENGINE=InnoDB", :id=>:integer})
-> 0.0094s
== 20200205035655 CreateOpenalmCommonHolidays: reverted (0.0099s) =====
```

<テーブル削除完了画面>

- 4) {REDMINE_ROOT}/plugins 配下のプラグインフォルダーを削除します。「openalm_common」プラグインは上記の 3) でテーブルを DB から削除した場合は削除しますが、そうではない場合は {REDMINE_ROOT}/plugins/openalm_common フォルダーは削除しません。
- 5) エラーがなく正常に実行されたら、web サーバーを再起動するとアンインストールが完了します。web サーバーを再起動させる方法は項目「3.3.5」と「3.3.6」と同じです。

3.5 インストールしたプラグインのバージョン確認

- 1) 正常にプラグインがインストールされると、Redmine のシステム管理者権限者で Redmine にログインすると、「管理」->「情報」をクリックすると、下図のようにインストールされたプラグインのバージョンを確認できます。
- 2) 「Redmine plugins」欄に「openalm_common」と「openalm_user_dashboard」が表示されていることを確認してください。

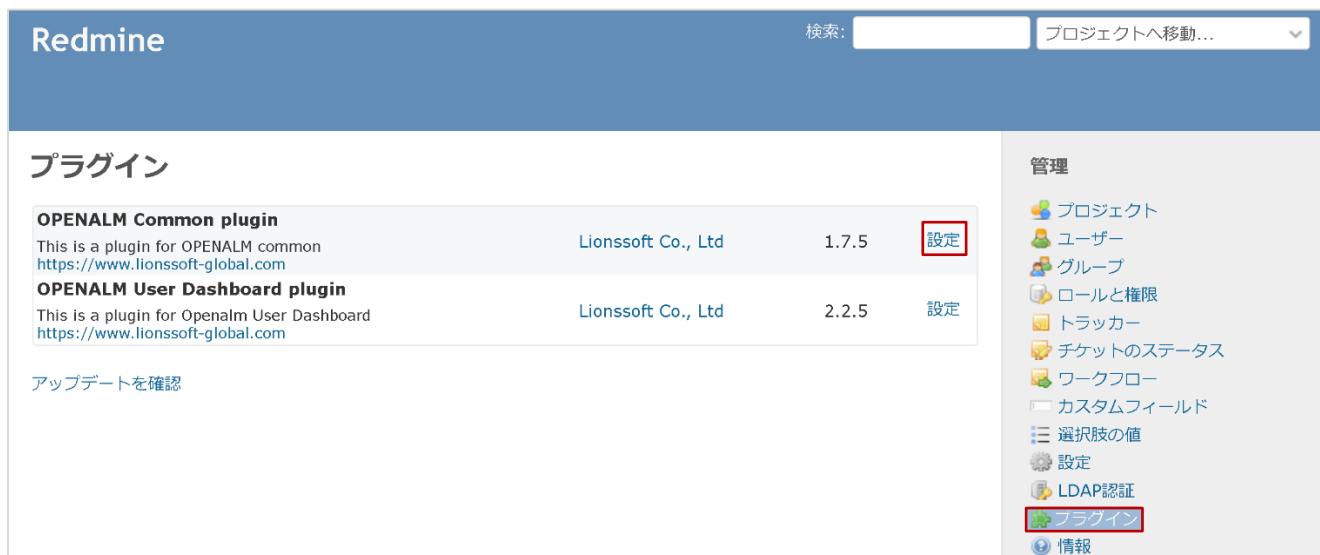


<プラグインのバージョン確認画面>

4. 設定

4.1 プラグイン

- システム管理者 (admin) 権限があるユーザーで Redmine にログインして「管理」->「プラグイン」->「OPENALM Common plugin」の設定をクリックします。



<プラグイン設定画面>

- 「達成率基準」は進捗の達成率の基準を設定する画面です。達成率アイコンの色はこの達成率基準によって異なった色が表示されます。下図の例で説明をすると、進捗の達成率が 90%以上なら正常(青色)アイコンが表示され、90%未満 70%以上なら警告(黄色)アイコンが表示され、70%未満なら危険(赤色)アイコンが表示されます。なお、達成率が 0%の場合は、達成率アイコンは表示されません。

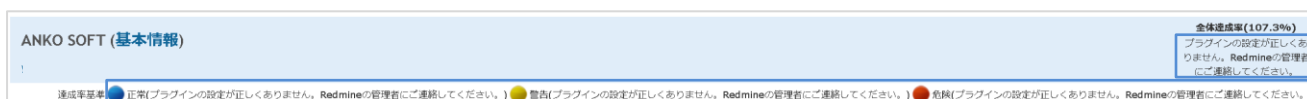


<「達成率基準」設定画面>



<達成率基準が適用された画面>

「達成率基準」を設定しないとユーザーダッシュボード画面で下図のように表示されますので、必ず設定してください。



<達成率基準が設定されていない画面>

- 3) 「チケットのトラッカー別の色」ではチケットのトラッカー別の色を指定して、チケット一覧でチケットのトラッカー別の色を区別するために設定します。色設定欄でマウスの左ボタンをクリックすると色を選択できるカラーピッカー画面が表示され、任意の色をマウスで選択すると、色コードが入力できます。もし希望する色を選択できない場合、直接色コードを入力することも可能です。



<チケットのトラッカー別の色の設定画面>

- 4) チケット一覧ページで、チケットのトラッカー別に色が表示されることを確認することができます。

home マイページ プロジェクト 管理 ヘルプ

openalm extended fields

検索: openalm extended fields

+ 概要 活動 ロードマップ チケット 作業時間 ガントチャート カレンダー ニュース 文書 Wiki ファイル 設定

チケット

新しいチケット ...

マイカスタムクエリ

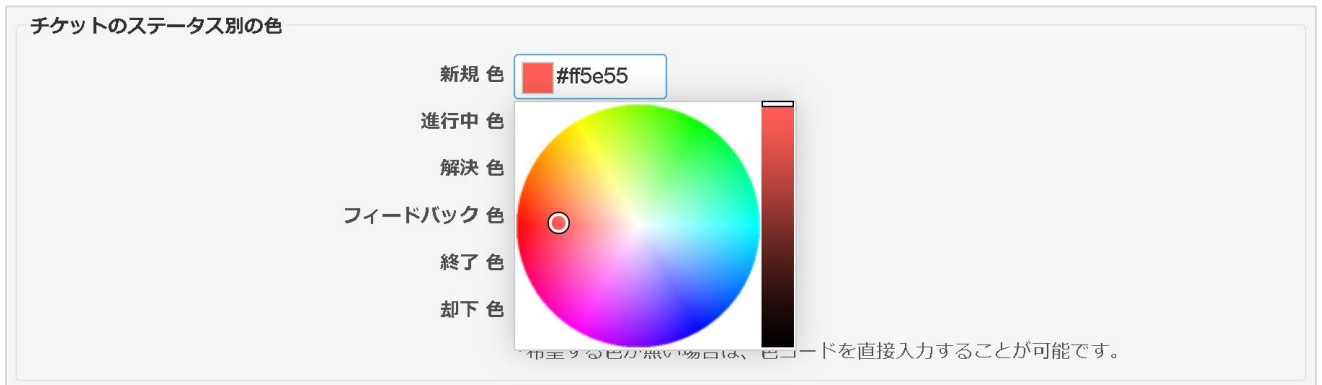
カスタムクエリ

ウォッチしているチケット
報告したチケット
担当しているチケット
更新したチケット

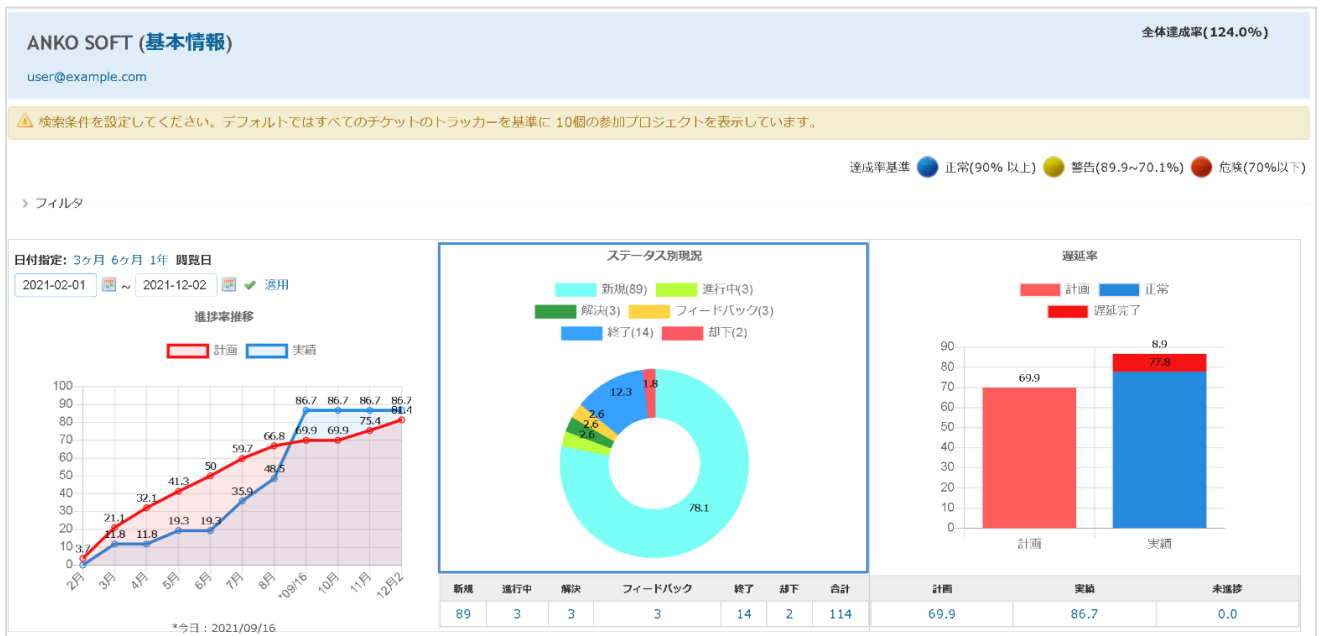
<input type="checkbox"/>	#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率	
<input type="checkbox"/>	165	機能	新規	通常	修正対応		2021/11/02 14:24		0%	...
<input type="checkbox"/>	164	WBS	新規	通常	開発完了 / 総合試験		2021/11/09 23:57		0%	...
<input type="checkbox"/>	163	WBS	新規	通常	画面モックアップ/AWSリリース		2021/11/09 23:57		0%	...
<input type="checkbox"/>	151	バグ	進行中	高め	戦略を評価する	ANKO SOFT	2021/11/09 23:57	2021/09/17	90%	...
<input type="checkbox"/>	150	バグ	進行中	高め	利益性を評価する	ANKO SOFT	2021/11/09 23:57	2021/09/18	90%	...
<input type="checkbox"/>	77	機能	進行中	高め	ビジネスビジョンを定義する	ANKO SOFT	2021/11/06 00:26	2021/08/09	90%	...
<input type="checkbox"/>	34	WBS	フィードバック	通常	市場分析を実施する		2021/11/06 00:26		0%	...

<チケットのトラッカー別の色が表示された画面>

- 5) 「チケットのステータス別の色」ではチケットのステータス欄の背景色を設定できます。色設定欄でマウスの左ボタンをクリックすると色を選択できるカラーピッカー画面が表示され、任意の色をマウスで選択すると、色コードが入力できます。もし希望する色を選択できない場合、直接色コードを入力することも可能です。

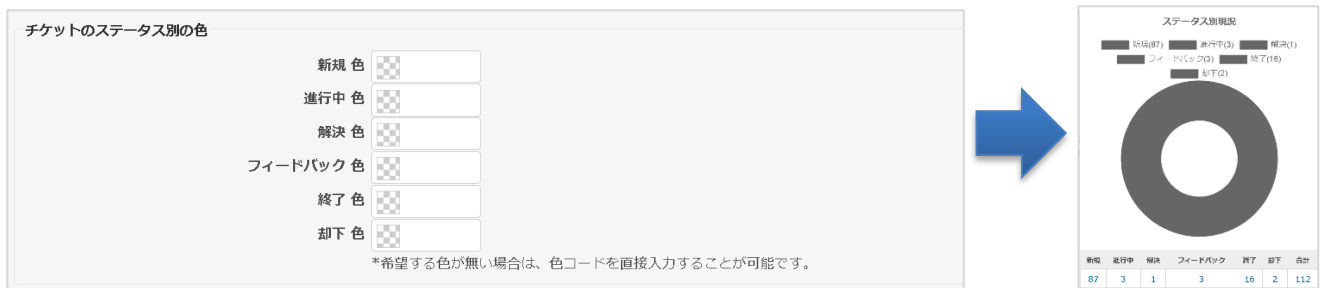


〈チケットのステータス別の色の設定画面〉



〈チケットのステータス別の色が適用された画面〉

「チケットのステータス別の色」が未指定の場合、ユーザーダッシュボードでの「ステータス別現況」は下図のように灰色で表示されます。



〈「チケットのステータス別の色」が未指定画面〉

- 6) 「チケットの優先度別の色」では、チケットの優先度によって色を表示するための設定で、色の欄でマウスの左ボタンをクリックすると、色選択メニューが表示されて、任意の色をクリックすると、色コード値が入力されます。各優先度別に、背景色、文字色、枠の色を指定することができます。

チケットの優先度別の色

低め 背景色/文字色/枠色	<input type="text" value="#eaf7ff"/>	<input type="text" value="#555599"/>	<input type="text" value="#add7f3"/>
通常 背景色/文字色/枠色	<input type="text" value="#"/>	<input type="text" value="#"/>	<input type="text" value="#"/>
高め 背景色/文字色/枠色	<input type="text" value="#ffc4c4"/>	<input type="text" value="#db0306"/>	<input type="text" value="#ffb4b4"/>
急いで 背景色/文字色/枠色	<input type="text" value="#f7a8a8"/>	<input type="text" value="#c90206"/>	<input type="text" value="#f7a8a8"/>
今すぐ 背景色/文字色/枠色	<input type="text" value="#f07d7d"/>	<input type="text" value="#990000"/>	<input type="text" value="#f07d7d"/>

*希望する色が無い場合は、色コードを直接入力してください



<チケットの優先度別の色の設定画面>

区分	背景色	文字色	枠色
低め	#eaf7ff	#555599	#add7f3
通常			
高め	#ffc4c4	#db0306	#ffb4b4
急いで	#f7a8a8	#c90206	#f7a8a8
今すぐ	#f07d7d	#990000	#f07d7d

<色のサンプル>

<input type="checkbox"/>	#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	
<input type="checkbox"/>	34	WBS	終了	通常	市場分析を実施する		2021/09/09 16:41	...
<input type="checkbox"/>	33	WBS	終了	通常	市場分析モデルを構築する		2021/09/09 16:42	...
<input type="checkbox"/>	31	WBS	新規	通常	フェーズ 2: 市場の定義		2021/09/09 14:29	...
<input checked="" type="checkbox"/>	30	WBS	新規	急いで	戦略を評価する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:24	...
<input checked="" type="checkbox"/>	29	WBS	新規	急いで	利益性を評価する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:24	...
<input checked="" type="checkbox"/>	28	WBS	進行中	急いで	財務的な要件を判断する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:24	...
<input checked="" type="checkbox"/>	27	WBS	新規	高め	必要なリソースを評価する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:24	...
<input checked="" type="checkbox"/>	26	WBS	進行中	高め	競合相手を評価する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:24	...
<input checked="" type="checkbox"/>	25	WBS	進行中	高め	市場の規模を評価する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:24	...
<input type="checkbox"/>	23	WBS	解決	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:25	...
<input type="checkbox"/>	22	WBS	解決	低め	必要なリソースを特定する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:25	...
<input type="checkbox"/>	21	WBS	解決	低め	対談を行う	ANKO SOFT	2021/09/15 12:25	...
<input type="checkbox"/>	20	WBS	却下	通常	市場を調査する	ANKO SOFT	2021/09/15 12:17	...

<チケットの優先度別の色が適用された画面>

- 7) 「休業日」は休業を設定する機能で、エクセルで作成したデータの貼り付けも可能です。「日付け」欄のセルをクリックすればカレンダーが表示されてカレンダーから日付の指定も可能です。入力が完了したら、適用ボタンをクリックして情報を保存してください。

休業日

休業日を設定	日付け	休日名
99	2022-04-29	昭和の日
100	2022-05-03	憲法記念日
101	2022-05-04	みどりの日
102	2022-05-05	こどもの日
103	2022-07-18	海の日
104	2022-08-11	山の日
105	2022-09-19	敬老の日
106	2022-09-23	秋分の日
107	2022-10-10	スポーツの日
108	2022-11-03	文化の日
109		
110		
111		
112		
113		
114		
115		
116		

2022年 11月

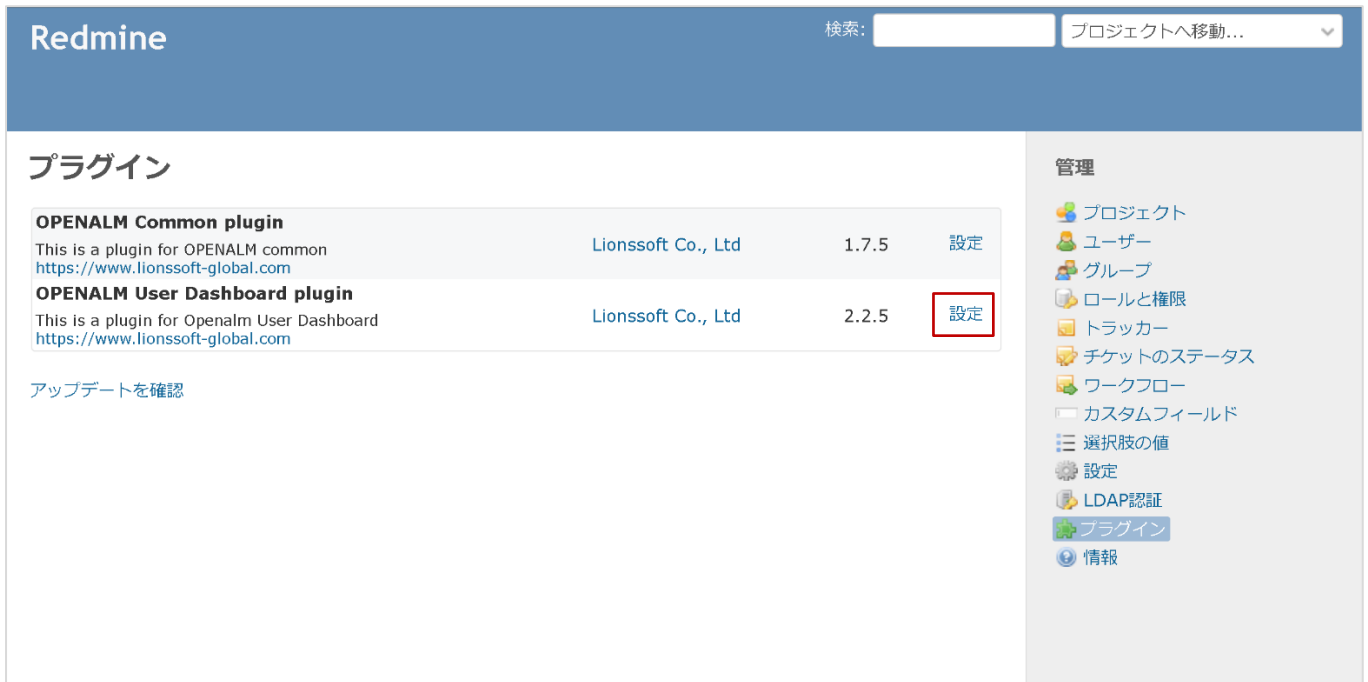
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

「適用」をクリックしないとRedmineに休業が登録されません。
「ここ」をクリックすると最新の休日データを取得できます。

適用

<休業日設定画面>

8) OPENALM User Dashboard plugin の設定をクリックします。



<プラグイン設定画面>

9) 「閲覧権限」欄でユーザーダッシュボードの閲覧権限を付与するユーザーを選択して適用ボタンをクリックします。

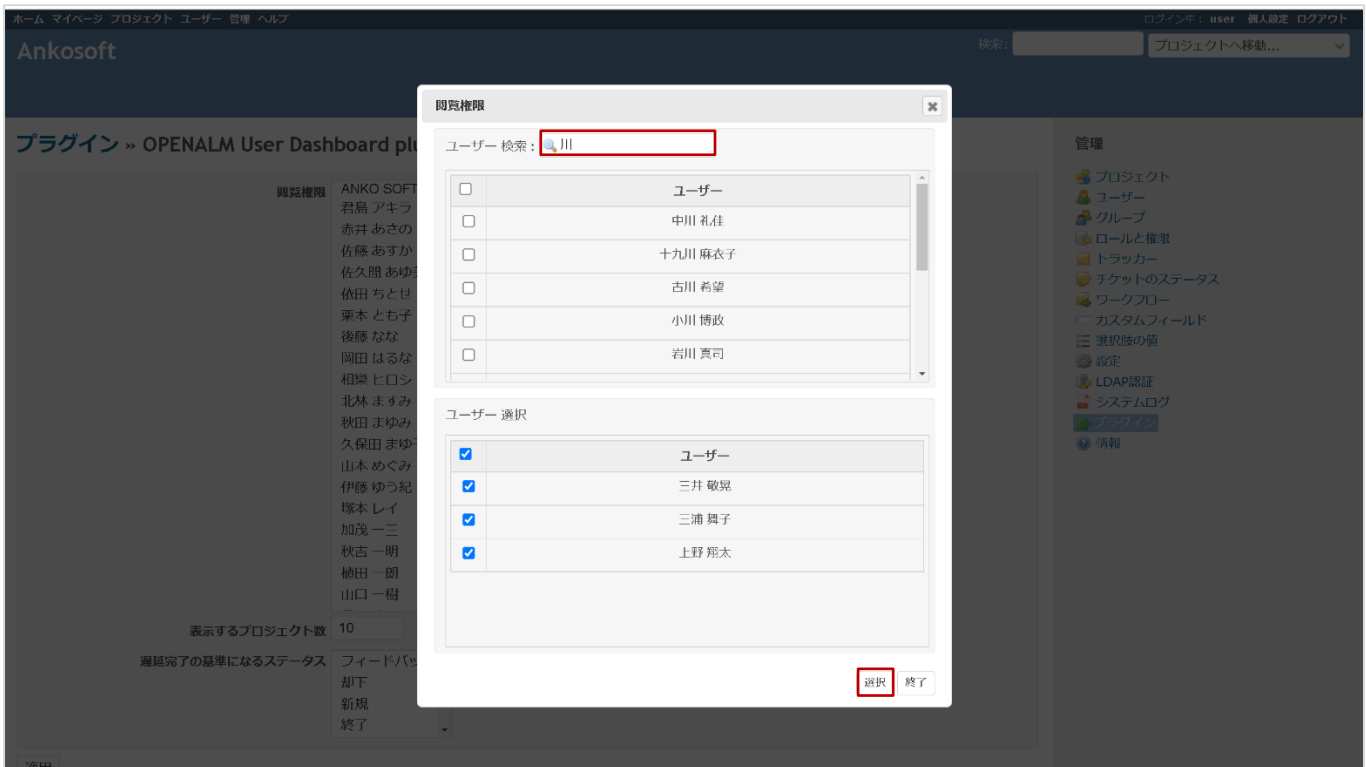


<閲覧権限設定画面>

- 10) ユーザーが多くて選択が難しい時は右側にある検索アイコンをクリックします。ユーザーを検索できるポップアップが表示されます。「閲覧権限」ポップアップ画面で、「ユーザー検索」欄で検索したいユーザー名を入力すると、部分一致でユーザーが検索されます。検索して希望するユーザーのチェックボックスにチェックした後に選択ボタンをクリックして、「閲覧権限」を該当ユーザーに付与します。



<ユーザー検索ボタンクリック画面>

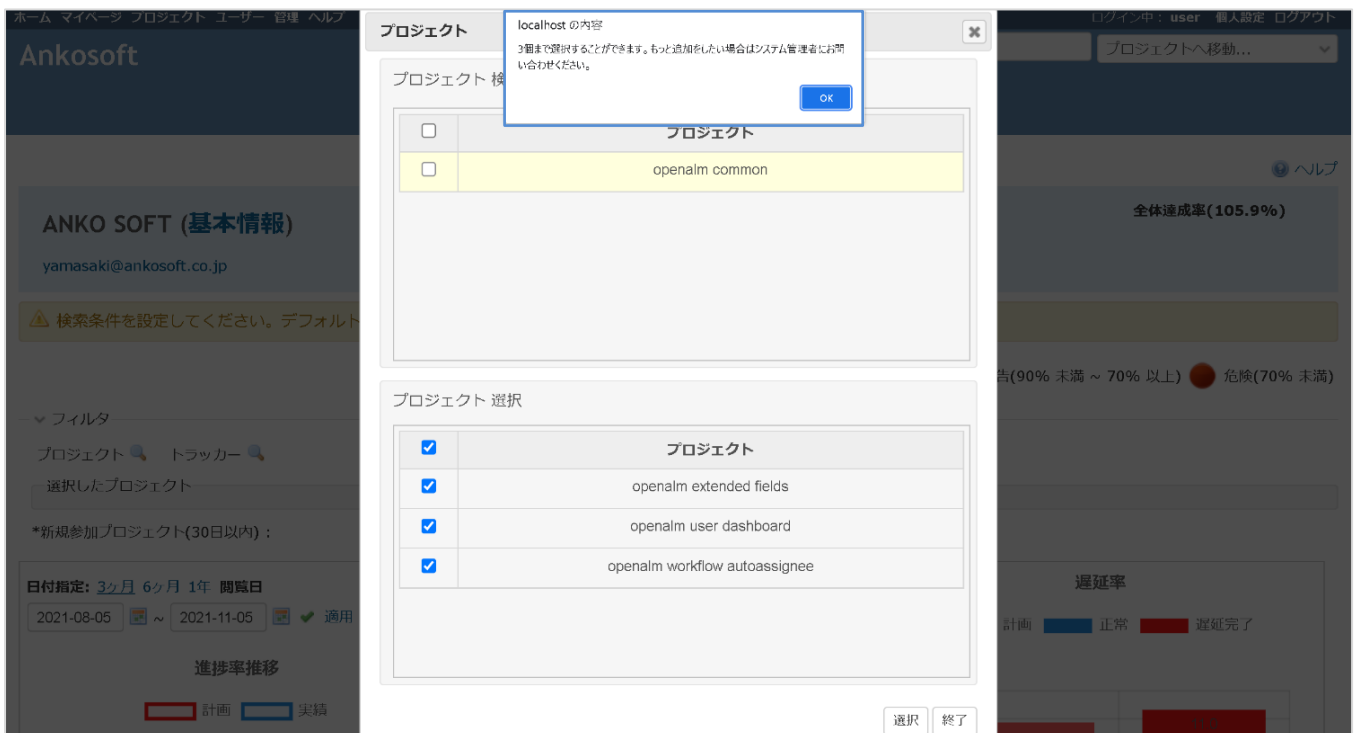


<閲覧権限を付与するユーザーを検索する画面>

- 11) 「表示するプロジェクト数」はユーザーダッシュボードで選択できる最大プロジェクト数を定義します。ここで設定した数のプロジェクトだけをユーザーダッシュボードで表示します。ここで多くのプロジェクト数を設定するとユーザーダッシュボード画面を表示する時に時間がかかる場合があります。デフォルト値は10です。ここで指定した数以上のプロジェクトに参加している場合、初期値の状態ではプロジェクト名を降順で並べて、該当のプロジェクト数までの情報をユーザーダッシュボードに表示します。ここで設定した数以上のプロジェクトをユーザーダッシュボードで指定しようとするすると下図のように「プロジェクト表示制限アラート」が表示されます。



＜「表示するプロジェクト数」設定画面＞



＜プロジェクト表示制限アラート画面＞

- 12) 「遅延完了の基準になるステータス」で、遅延完了の基準になるステータスを指定します。設定したステータスが期日までに完了状態に変更されないと遅延完了として集計されます。

Ankosoft 検索: プロジェクトへ移動...

プラグイン » OPENALM User Dashboard plugin

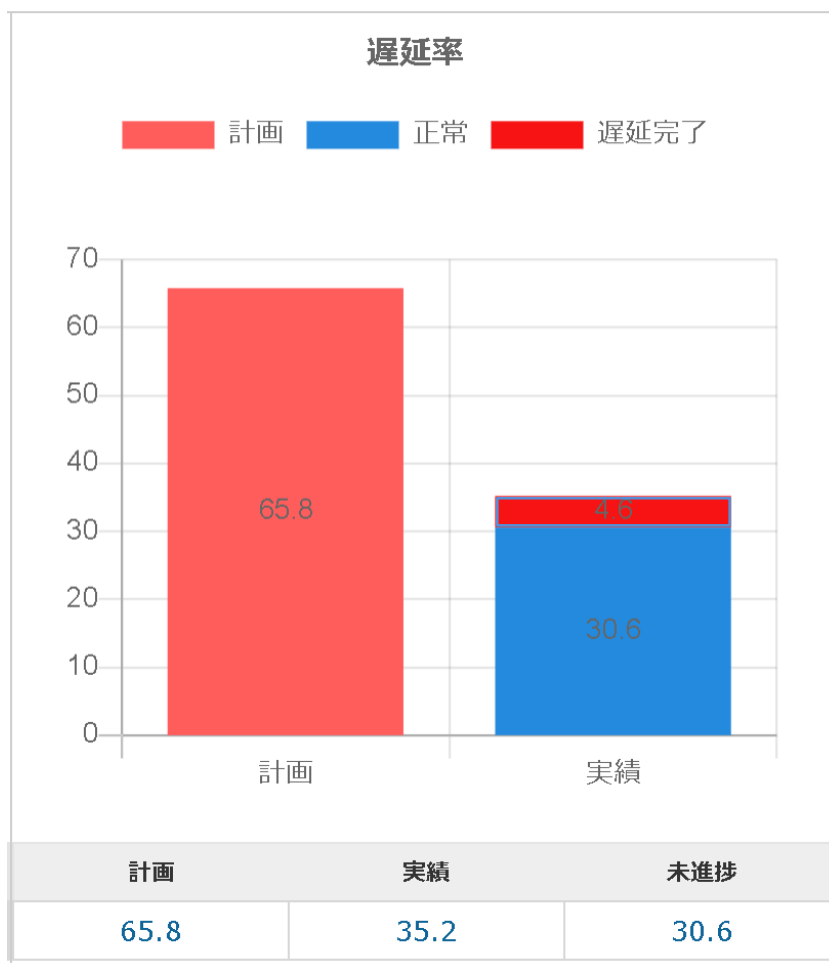
閲覧権限: ANKO SOFT
君島 アキラ
赤井 あさの
佐藤 あずか
佐久間 あゆ美

表示するプロジェクト数: 10

遅延完了の基準になるステータス: フィードバック
却下
新規
終了

管理
プロジェクト
ユーザー
グループ
ロールと権限
トラッカー
チケットのステータス
ワークフロー
カスタムフィールド
選択肢の値
設定
LDAP認証
システムログ
プラグイン

<「遅延完了の基準になるステータス」画面>



<遅延完了の基準が適用された画面>

4.2 ライセンスの登録

- 1) システムセキュリティーキーをコピーして下記のリンク先のページをブラウザで開いて、評価版もしくは購入したライセンスキーを取得して、取得したライセンスキーを「ライセンスキー登録」に入力して適用をクリックしてライセンスキーを登録します。

<https://www.redmine-marketplace.com>

ライセンス登録

システムセキュリティーキー c7c091e61123b49cd842399a2e071b5807120767db36659e4cb7be0efdbb2436d4a5cfea429e9496

ライセンスキー登録

ライセンスキーが登録されていません。

適用

- 2) 正常にライセンスキーが登録されると、有効期限が表示されます。

ライセンス登録

システムセキュリティーキー c7c091e61123b49cd842399a2e071b5807120767db36659e4cb7be0efdbb2436d4a5cfea429e9496

ライセンスキー登録 e9AUVakh2WMnkEX2LfrJ4gzBTcdXaTVVYRGL1EKd0vqYbe+f36JWkpzVXwAn

有効期間: 2022/11/02

- 3) 有効期限が満了になると下図のように表示されます。

ライセンス登録

システムセキュリティーキー c7c091e61123b49cd842399a2e071b5807120767db36659e4cb7be0efdbb2436d4a5cfea429e9496

ライセンスキー登録 e9AUVakh2WMnkEX2LfrJ4gzBTcdXaTVVYRGL1EKd0vqYbe+f36JWkpzVXwAnDY3p1U4r4G0Jkzpj20oA2xEE7DMRrfKyYhJHKnI7N2htR/etBb

使用期限が完了しました。再購入をしてください。

5. 機能説明

5.1 ユーザー閲覧

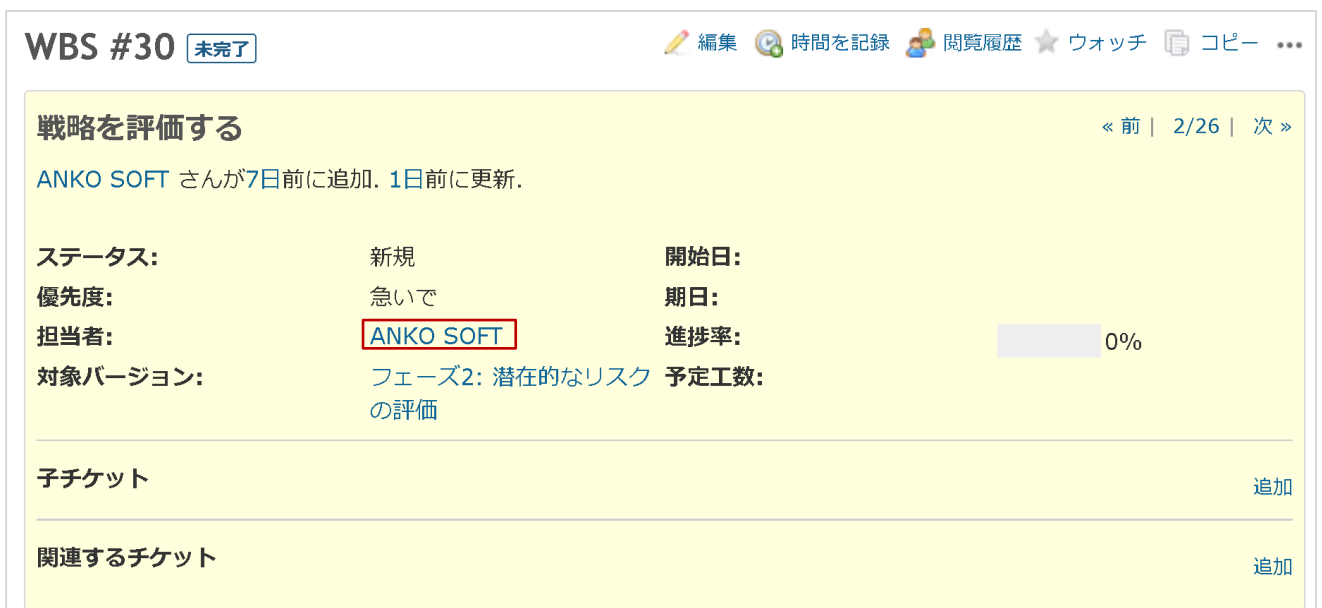
- 1) 項目「4.1.9)」で付与したダッシュボード閲覧権限があるユーザーと Redmine のシステム管理者はトップメニューの「ユーザー」をクリックすると全体のユーザー一覧が表示されてユーザー別に名前、メールアドレス、参加プロジェクト、最終接続日が表示されます。
- 2) 名前欄に検索したいユーザー名を入力したり、参加プロジェクト欄に検索対象のプロジェクト名を入力して「適用」ボタンをクリックすると該当の条件でユーザーを検索できます。
- 3) ダッシュボード閲覧権限がないユーザーは右上段にあるアカウント名をクリックすると自分のダッシュボードが表示されます。



No	名前	メールアドレス	参加プロジェクト	最終接続日
1	ANKO SOFT	user@example.com	1. openalm common 2. openalm extended fields 3. openalm user dashboard 4. openalm workflow autoassignee	2021/10/19 12:35
2	三浦 大介	miuradaisuke@anko.co.jp	1. openalm common 2. openalm extended fields 3. openalm workflow autoassignee	2021/10/19 18:12
3	三浦 舞子	miuramaiko@anko.co.jp	1. openalm extended fields	
4	上村 理恵	uemurarie@anko.co.jp	1. openalm extended fields	

〈ユーザー一覧画面〉

- 4) ユーザー名が表示される個所にはリンクが設定され、該当のユーザー名をクリックすると、該当ユーザーのダッシュボードに移動します。ダッシュボード閲覧権限がないユーザーは基本 Redmine のユーザー情報に移動して、自分の名前をクリックするとユーザーダッシュボードページに移動します。



WBS #30 未完了 編集 時間を記録 閲覧履歴 ウォッチ コピー ...

戦略を評価する « 前 | 2/26 | 次 »

ANKO SOFT さんが7日前に追加, 1日前に更新.

ステータス: 新規 開始日:

優先度: 急いで 期日:

担当者: **ANKO SOFT** 進捗率: 0%

対象バージョン: フェーズ2: 潜在的なリスク の評価 予定工数:

子チケット 追加

関連するチケット 追加

〈チケット詳細画面〉

5.2 ダッシュボード表示

- 1) ユーザーの名前をクリックすると該当ユーザーのダッシュボード画面が表示されます。ダッシュボード画面の項目別の説明をします。



遅延チケット(2021/11/23) ⑤

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
187	WBS	新規	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/10/17 15:55	2021/11/17	40%
185	WBS	解決	低め	対応を行う	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/15	40%

(1-2/2)

期日直前チケット(2021/11/24-2021/12/01) ⑥

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
188	WBS	進行中	高め	競合相手を確認する	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	40%
189	WBS	進行中	通常	必要なリソースを評価する(東京、名古屋、大阪)	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	20%

(1-2/2)

参加プロジェクト ⑦

プロジェクト: user dashboard

進捗率			未完了/完了別現況			全体進捗率 (38.2%)
計画	実績	進捗率	未完了(遅延)	完了	合計	
98.4	37.6	38.2	4(2)	2	6	

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
188	WBS	進行中	高め	競合相手を確認する	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	40%
189	WBS	進行中	通常	必要なリソースを評価する(東京、名古屋、大阪)	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	20%
187	WBS	新規	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/10/17 15:55	2021/11/17	40%
185	WBS	解決	低め	対応を行う	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/15	40%

(1-4/4)

<ダッシュボード画面>

- 2) ①ユーザーの基本情報が表示されます。「基本情報」をクリックすると既存の Redmine で提供するユーザー情報が表示されます。

Home マイページ プロジェクト ユーザー 管理 ヘルプ

Ankosoftware

ログイン中: user 個人設定 ログアウト

検索: [] プロジェクトへ移動...

ANKO SOFT

- ログインID: user
- 登録日: 2021/09/07
- 最終接続日: 2021/09/15

チケット

	未完了	完了	合計
担当しているチケット	12	2	14
報告したチケット	27	5	32

プロジェクト

プロジェクト	ロール	登録日
ANKOカントチャート	管理者	2021/09/14
openalm extended fields	管理者	2021/09/10

活動

2021/09/15

- 12:17 openalm extended fields - WBS #23 (解決): 運用コストを特定する ANKO SOFT
- 12:17 openalm extended fields - WBS #21 (解決): 対談を行う ANKO SOFT
- 12:17 openalm extended fields - WBS #22 (解決): 必要なリソースを特定する ANKO SOFT
- 12:17 openalm extended fields - WBS #18 (却下): 次段階へと移行するかどうかを決定する ANKO SOFT
- 12:17 openalm extended fields - WBS #20 (却下): 市場を調査する ANKO SOFT
- 12:17 openalm extended fields - WBS #16 (フィードバック): ビジネス ビジョンを定義する ANKO SOFT

◀「基本情報」をクリックすると表示される画面▶

- 3) 達成率アイコンは計画対比実績を計算した達成率により「正常」、「警告」、「危険」の色で表示されます。閾値の設定は「4.1.2)」項目の説明を参照ください。
- 4) 達成率の計算は「実績進捗率/計画進捗率 * 100」で計算されます。
- 5) 進捗率の計算は次の通りです。ヘルプにマウスを当てても計算方法が表示されます。
- チケットの開始日と期日により期間を算出して進捗率を計算します。
 - 例えば A チケットは期間が 10 日間で進捗率が 10%、B チケットは期間が 1 日で進捗率が 100%である場合は
 - 1 日を 1 で計算します。10 日の 10%は 1 日に該当するので 2(進捗期間) / 11(全体の期間) * 100 = 18.2%(小数点第二位を四捨五入します)になります。

Home マイページ プロジェクト ユーザー 管理 ヘルプ

Ankosoftware

ログイン中: user 個人設定 ログアウト

検索: [] プロジェクトへ移動...

ANKO SOFT (基本情報)

ankosoft@ankosoft.co.jp

達成率基準 ● 正常(90% 以上)

ヘルプ

フィルタ

日付指定: 3ヶ月 6ヶ月 1年 閲覧日

2021-08-24 ~ 2021-11-24 適用

進捗率推移

計画 実績

100 93 97.798.4

ステータス別現況

新規(1) 進行中(2) 解決(1) 終了(1) 却下(1)

10.7 16.7

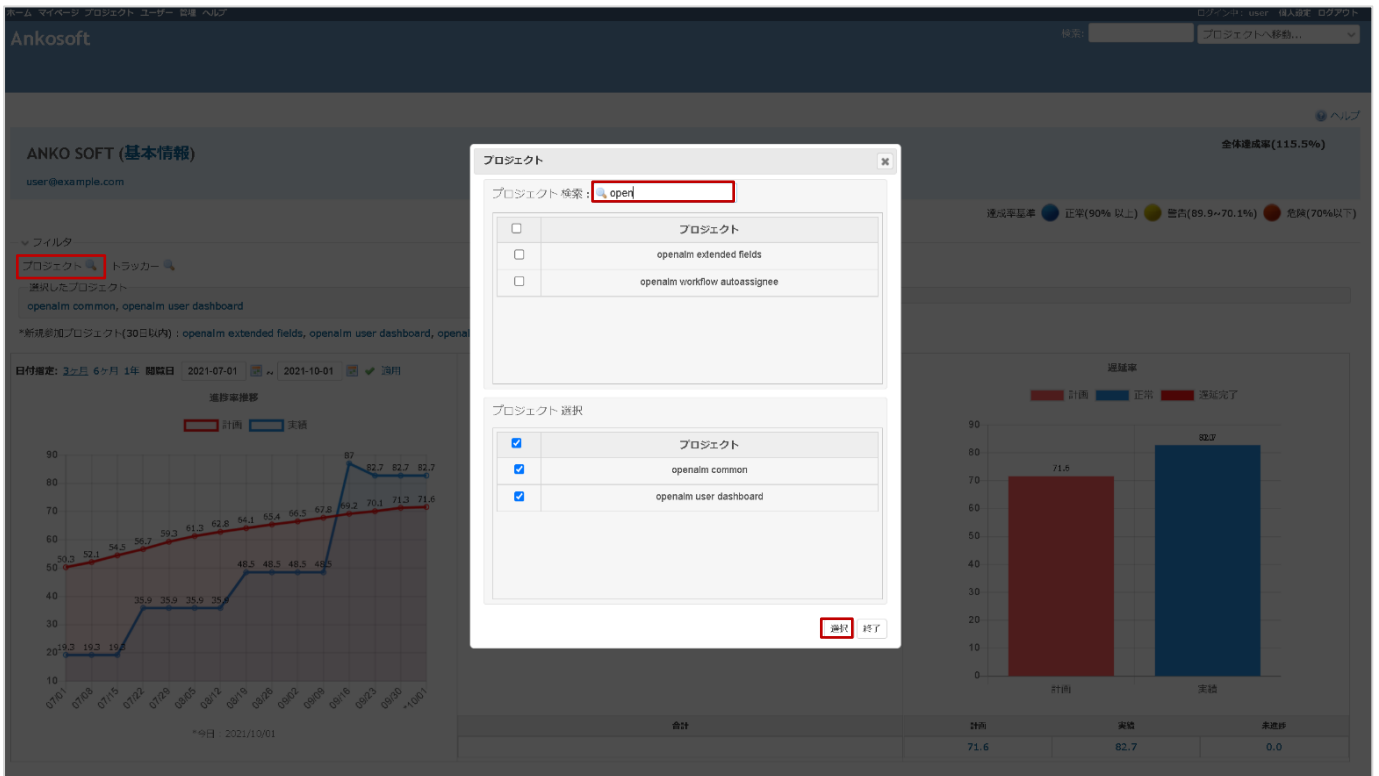
計画 正常 遅延完了

100 90 80 70

*進捗率計算方法
チケットの期間(開始日~期日までで休日を除外)と進捗率によって計算します。
期間は加重値の役割をして、期間が長い場合、加重値が高くなります。
計算式: 期間(該当チケット)/全体期間(全てのチケット) * 進捗率(該当チケット)
例えば、Aチケットは期間が10日で進捗率が10%、Bチケットは期間が1日で進捗率が100%の場合は
1/11*100 + 10/11*10 = 18.2%(小数点第一位まで表示)

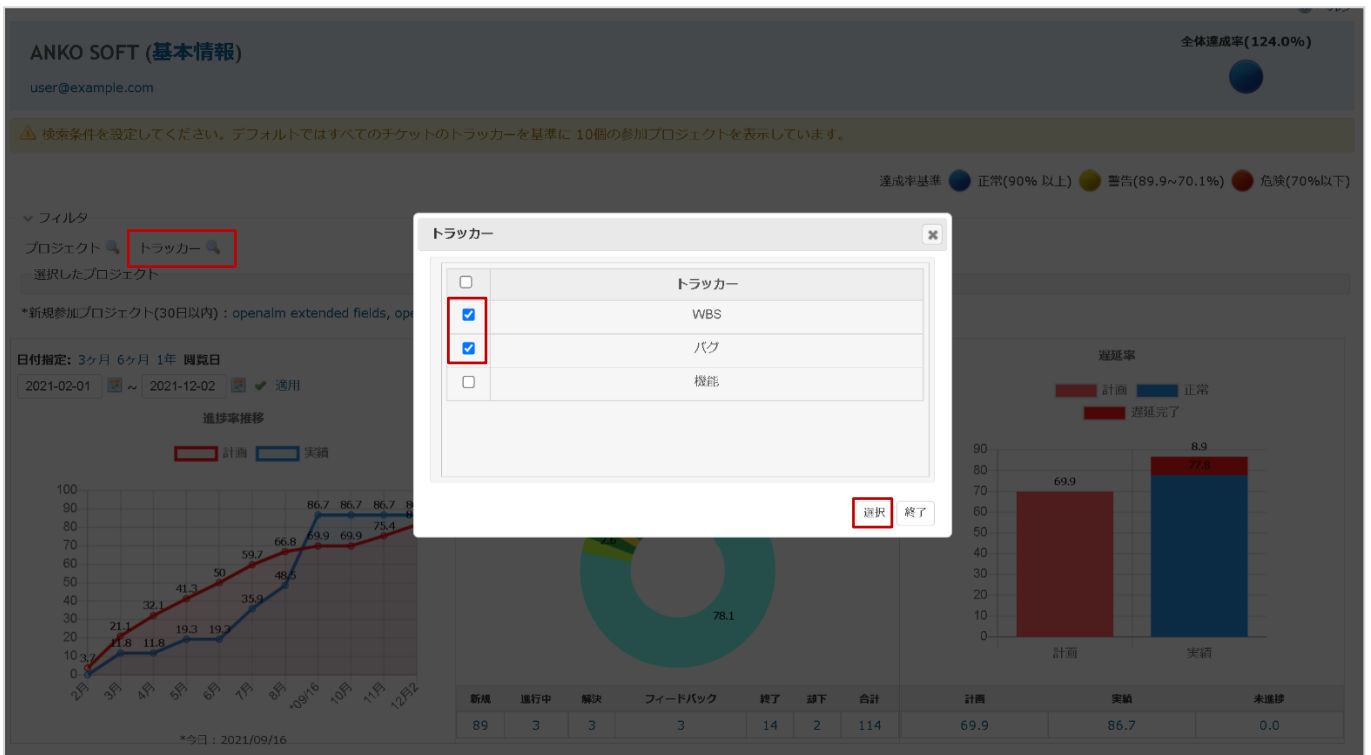
◀進捗率計算方法ヘルプ表示画面▶

- 6) 「フィルタ」をクリックして、「プロジェクト」アイコンをクリックすると、「プロジェクト」ポップアップ画面が表示されて、該当ユーザーが参加しているプロジェクトが表示されます。ダッシュボードで表示するプロジェクトを選択して「選択」ボタンをクリックしてください。



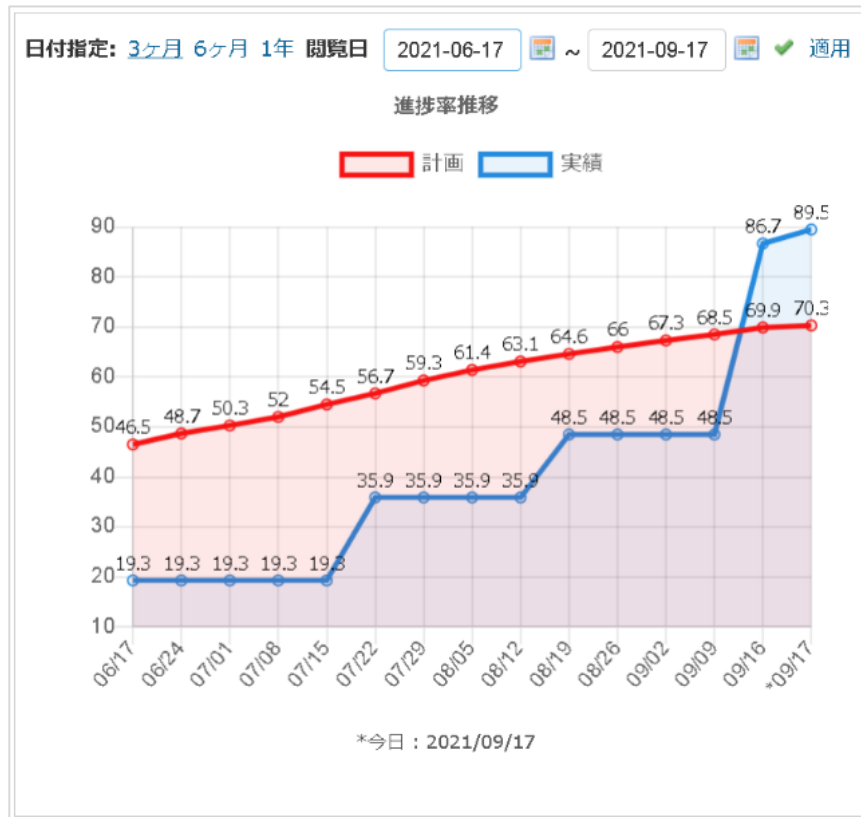
＜プロジェクト検索と選択画面＞

- 7) 「トラッカー」アイコンをクリックすると、「トラッカー」ポップアップ画面が表示されます。ダッシュボードで表示するトラッカーを選択して「選択」ボタンをクリックしてください。



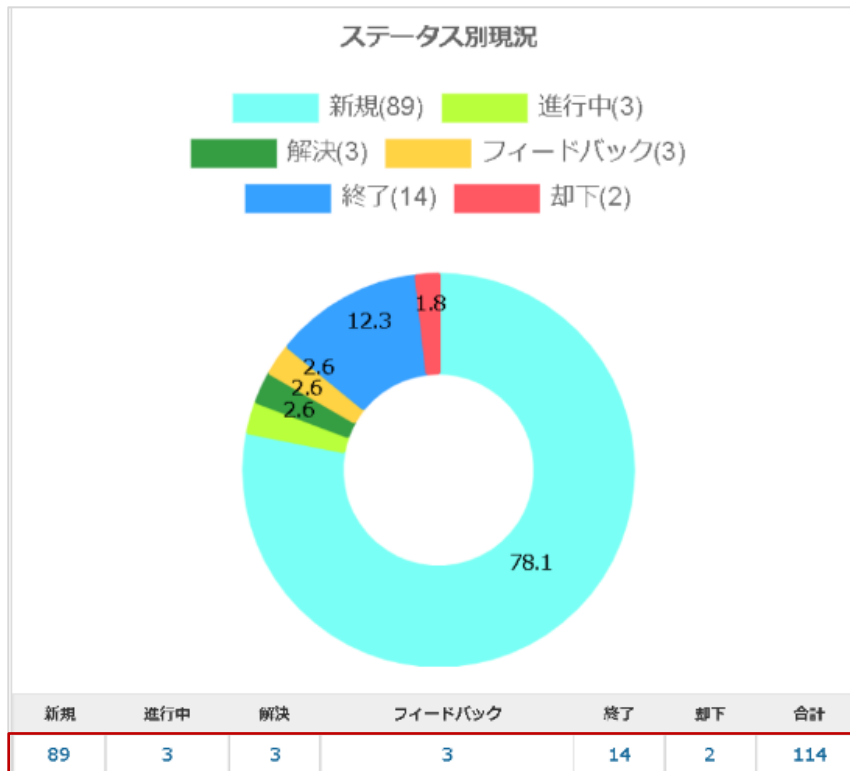
＜トラッカー選択画面＞

- 8) ②進捗率推移グラフは担当しているチケットに対して計画日(開始日と期日)と進捗率を入力した日を基準にして表示します。
- 9) チケットの開始日と期日が横軸に該当し、今日の日付を基準にした計画進捗率と実績進捗率が表示されます。



<進捗率推移グラフ画面>

- 10) ③ステータス別現況はチケットのステータス別のチケットの件数を表示します。



<チケットステータス別現況チャート画面>

11) ステータス別に表示された数字をクリックすると該当チケット一覧が表示されます。

チケット

新しいチケット ...

カスタムクエリ

ウォッチしているチケット
報告したチケット
担当しているチケット
更新したチケット

フィルタ

オプション

適用 クリア 保存

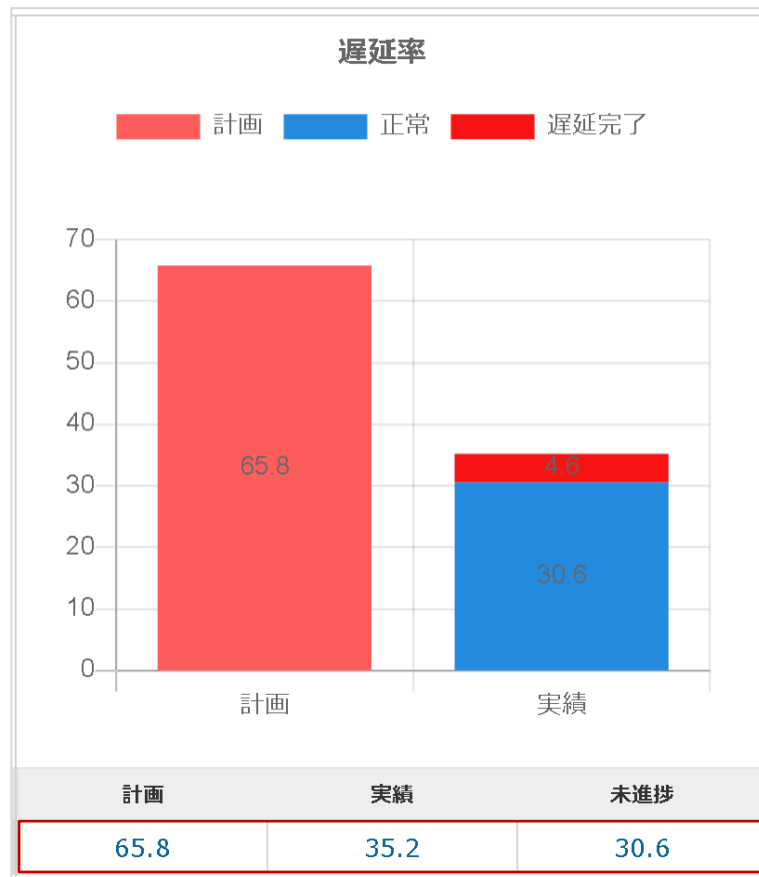
<input type="checkbox"/>	#	プロジェクト	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	
openalm extended fields									
<input type="checkbox"/>	30	openalm extended fields	WBS	新規	通常	戦略を評価する	ANKO SOFT	2021/09/16 13:35	...
<input type="checkbox"/>	29	openalm extended fields	WBS	新規	通常	利益性を評価する	ANKO SOFT	2021/09/16 13:35	...
<input type="checkbox"/>	27	openalm extended fields	WBS	新規	通常	必要なリソースを評価する	ANKO SOFT	2021/09/16 13:35	...

(1-3/3)

他の形式にエクスポート: Atom | CSV | PDF

<チケット一覧画面>

12) ④遅延率は対象チケットの現在の計画と実績、未進捗を表示して遅延完了を含んで表示します。遅延完了は期日内に完了できていないチケットの比率が表示されます。未進捗は照会日を基準として計画した進捗率が進行されなかった場合、未進捗に表示されます。各項目の数字をクリックすると該当チケット一覧を確認できます。ただし、この機能は、Redmine 3.3 以上でのみ提供します。



<遅延率チャート画面>

13) ⑤遅延チケットは期限内に完了していないチケットが表示されます。

遅延チケット(-2021/11/04)

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
159	バグ	新規	通常	a	ANKO SOFT	2021/10/13 12:43	2021/10/12	90%
28	WBS	進行中	急いで	財務的な要件を判断する	ANKO SOFT	2021/11/05 15:16	2021/10/22	100%
25	WBS	進行中	高め	市場の規模を評価する	ANKO SOFT	2021/11/05 15:16	2021/10/22	100%
26	WBS	進行中	高め	競合相手进行评估する	ANKO SOFT	2021/10/19 16:47	2021/10/11	100%
16	WBS	フィードバック	通常	ビジネス ビジョンを定義する	ANKO SOFT	2021/11/05 15:16	2021/10/22	100%

＜遅延チケット画面＞

14) 遅延チケットで表示する項目はRedmineのシステム管理者権限でログイン後、「管理」->「設定」->「チケットトラッキング」の「チケットの一覧で表示する項目」で設定できます。

＜チケットトラッキング画面＞

15) ⑥「期日直前チケット」は今後一週間以内に期日を迎えるチケットを表示します。

期日直前チケット(2021/11/05-2021/11/12)

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
127	機能	新規	急いで	フェーズ 2: 市場の定義	ANKO SOFT	2021/09/17 19:10	2021/11/09	90%
124	機能	新規	急いで	財務的な要件を判断する	ANKO SOFT	2021/11/05 23:55	2021/11/05	90%
106	機能	新規	通常	UI クライアント	ANKO SOFT	2021/09/17 19:10	2021/11/05	90%

(1-3/3)

＜期日直前チケット画面＞

- 16) ⑦「参加プロジェクト」は該当ユーザーが参加している各プロジェクトに対して「進捗度」と「未完了/完了別現況」と「達成率アイコン」、該当ユーザーが担当しているチケット一覧を表示します。

参加プロジェクト

プロジェクト : user dashboard

進捗度			未完了/完了別現況			全体達成率 (38.2%)
計画	実績	達成率	未完了(遅延)	完了	合計	
98.4	37.6	38.2	4(2)	2	6	

#	トラック	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
188	WBS	進行中	高め	競合相手を評価する	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	 40%
189	WBS	進行中	通常	必要なリソースを評価する(東京、名古屋、大阪)	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	 20%
187	WBS	新規	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/10/17 15:55	2021/11/17	 40%
185	WBS	解決	低め	対談を行う	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/15	 40%

(1-4/4)

<参加プロジェクト画面>

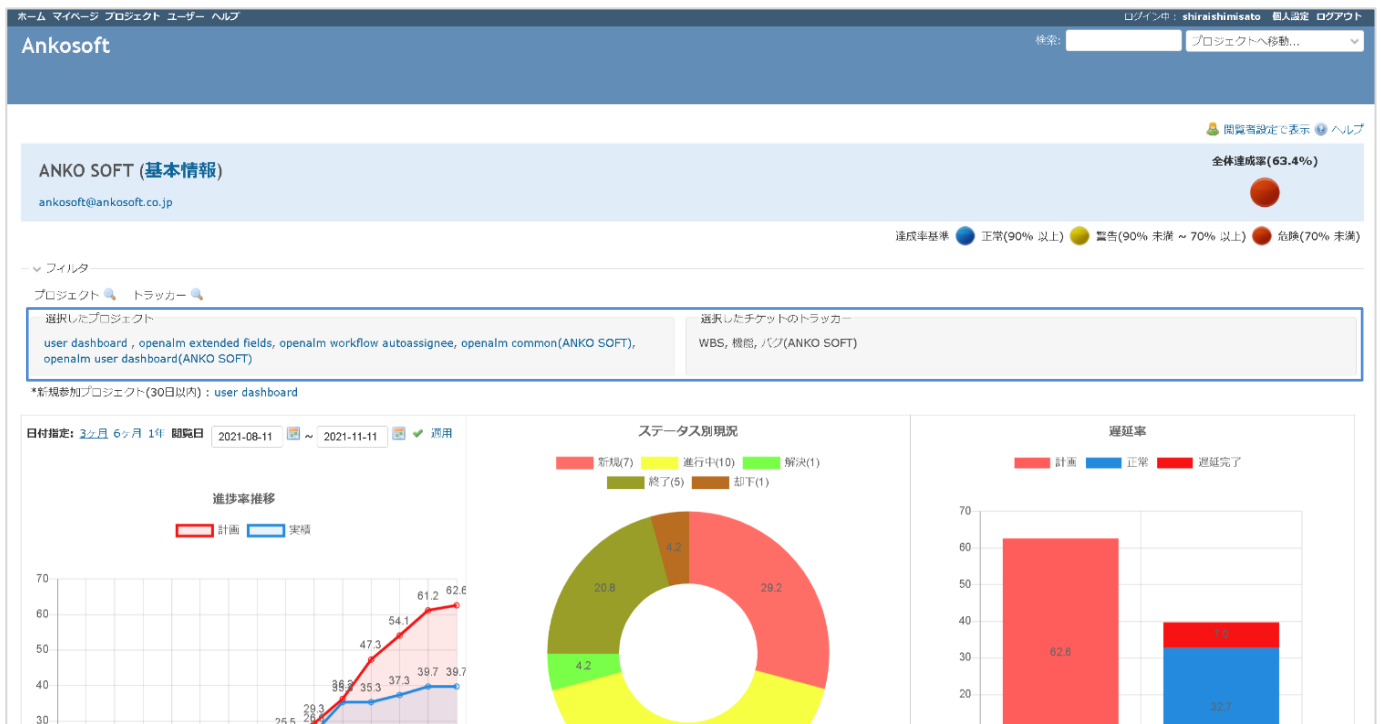
5.3 閲覧モード

- 1) ユーザーダッシュボードの閲覧モードは、本人のダッシュボード検索で設定した条件と閲覧権限があるユーザーが他人のユーザーダッシュボードに対して検索条件を設定したものを区別して閲覧することができます。
- 2) 本人のダッシュボードに対して検索条件として設定した画面は下図のとおりです。



<本人が検索条件として設定した画面>

- 3) 閲覧権限があるユーザー（白石 美沙登）が上のユーザー（ANKO SOFT）に対して次のような検索条件を設定しました。



<他人のダッシュボードに対して検索条件を設定した画面>

- 4) プロジェクト名とチケットのトラッカー名にユーザーの名前がある場合は、該当ユーザーだけが設定した場合であり、名前がない場合は、二人のユーザーが同一に設定をした場合です。例えば Openalm Common は ANKO SOFT だけが設定して「白石 美沙登」は設定しませんでした。User Dashboard は二人のユーザーが同一に設定した場合があります。チケットのトラッカーも同じです。



- 5) 「閲覧者設定で表示」はダッシュボードの閲覧対象者が設定した条件で表示する機能です。



<「閲覧者設定で表示」メニューが表示された画面>

- 6) 「閲覧者設定で表示」モードなので、プロジェクト、トラッカーの検索条件を変更することができません。



<「閲覧者設定で表示」で表示された画面>

7) 「自分の設定で表示」をクリックすると、本人が設定した検索条件の画面に遷移します。



The screenshot shows the AnkoSoft dashboard interface. At the top right, the user is logged in as 'shiraishimisato'. A search bar and a 'プロジェクトへ移動...' dropdown are visible. The main header area contains the '自分の設定で表示' (Show my settings) button, which is highlighted with a red box. Below this, the 'ANKO SOFT (基本情報)' section shows the overall completion rate as 61.1% with a red indicator. A legend for completion rates is provided: 正常(90%以上) in blue, 警告(90%未満 ~ 70%以上) in yellow, and 危険(70%未満) in red. The dashboard also features filters for projects and trackers, and a '進捗率推移' (Progress rate trend) chart.

<「自分の設定で表示」メニューが表示された画面>

8) 「新規参加プロジェクト(30日以内)」は本人が最近(30日以内)にメンバーとして追加されたプロジェクト名を表示します。



This screenshot shows the same AnkoSoft dashboard, but with the link '*新規参加プロジェクト(30日以内) : user dashboard' highlighted with a blue box. The rest of the interface, including the user information and completion rate indicators, remains the same as in the previous screenshot.

<新規参加プロジェクト表示画面>

5.4 マイページでのダッシュボード設定

- 1) ユーザーダッシュボード画面をマイページでも表示できます。
- 2) マイページの「追加」から「進捗率チャート」、「遅延チケット」、「完了直前チケット」、「参加プロジェクト」を選択することにより、必要な項目を追加してマイページに配置できます。



ホーム マイページ プロジェクト ユーザー 管理 ヘルプ ログイン中: user 個人設定 ログアウト

Ankosoft 検索: プロジェクトへ移動...

マイページ 追加:

カレンダー

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
47	21	22 openalm user dashboard - 機能 #115 : フェーズ 1: 機会の定義	23 user dashboard - WBS #185 : 対談を行う	24 openalm user dashboard - 機能 #104 : データベース開発	25 openalm user dashboard - 機能 #71 : UI クライアント

報告したチケット (135)

#	プロジェクト	トラッカー	ステータス	題名
185	user dashboard	WBS	解決	対談を行う
189	user dashboard	WBS	進行中	必要なリソースを評価する(東京、名古屋、大阪)
188	user dashboard	WBS	進行中	競合相手を評価する

〈マイページでユーザーダッシュボード追加画面〉

3) 進捗率チャートを追加すると下図のようにポートレット単位で追加され、任意の場所に画面の配置ができます。

ホーム マイページ プロジェクト ユーザー 管理 ヘルプ
ログイン中: user 個人設定 ログアウト

Ankosoft
検索: プロジェクトへ移動...

マイページ 拡張

ANKO SOFT (基本情報) 全体達成率(38.2%)

ankosoft@ankosoft.co.jp

達成率基準 ● 正常(90%以上) ● 警告(90%未満~70%以上) ● 危険(70%未満)

> フィルタ

日付指定: 3か月 6か月 1年 即時日 2021-09-24 2021-11-24 適用

進捗率推移

ステータス別現況

新規	進行中	解決	終了	却下	合計
1	2	1	1	1	6

遅延率

計画	実績	未進捗
98.4	37.6	60.8

遅延チケット(2021/11/23)

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
187	WBS	新規	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/10/17 15:55	2021/11/17	40%
185	WBS	解決	低め	対策を行う	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/15	40%

(1-2/2)

期日直前チケット(2021/11/24~2021/12/01)

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
188	WBS	進行中	高め	競合相手を評価する	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	40%
189	WBS	進行中	通常	必要なリソースを評価する(東京、名古屋、大阪)	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	20%

(1-2/2)

参加プロジェクト

プロジェクト: user dashboard

進捗度

計画	実績	達成率
98.4	37.6	38.2

未完了/完了別現況

未完了(遅延)	完了	合計
4(2)	2	6

全体達成率 (38.2%)

#	トラッカー	ステータス	優先度	題名	担当者	更新日	期日	進捗率
188	WBS	進行中	高め	競合相手を評価する	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	40%
189	WBS	進行中	通常	必要なリソースを評価する(東京、名古屋、大阪)	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/26	20%
187	WBS	新規	低め	運用コストを特定する	ANKO SOFT	2021/10/17 15:55	2021/11/17	40%
185	WBS	解決	低め	対策を行う	ANKO SOFT	2021/11/24 02:44	2021/11/15	40%

(1-4/4)

＜マイページで構成されたユーザーダッシュボード画面＞

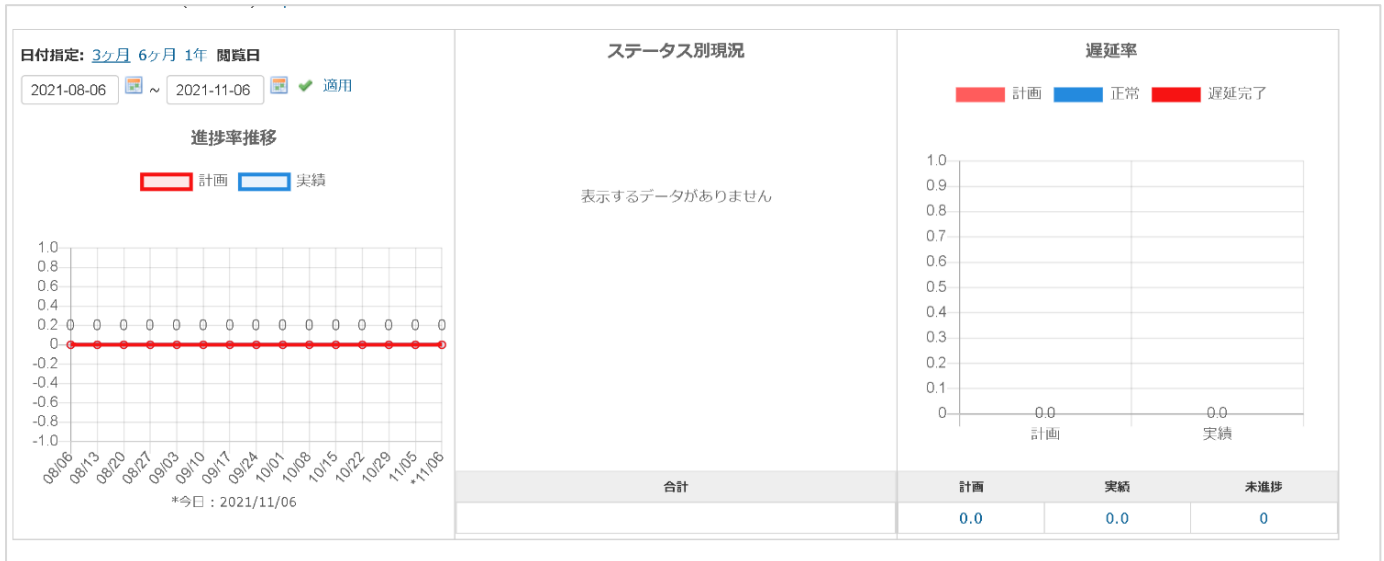
Ankosoft

-35-

www.ankosoft.co.jp

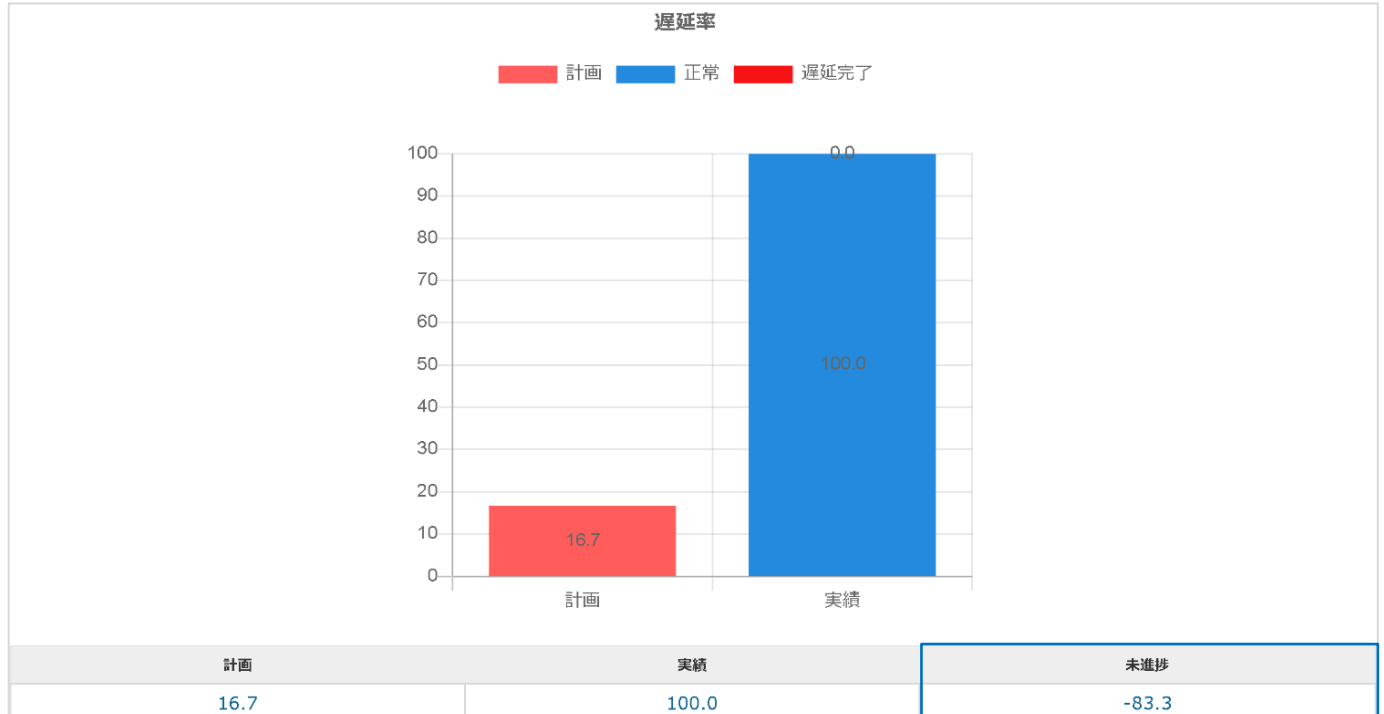
6. 制限事項

- 1) 表示するデータがない場合は、各種のチャートが下図のように表示されます。



〈表示するデータがない場合の画面〉

- 2) 「遅延率」のグラフで、計画よりも実績が進捗率が高い場合、「未進捗」の欄はマイナスの値が表示されます。下図の例ですと、計画上は16.7%進捗する予定でしたが、実際には進捗率が100%のため、計画に対して83.3%進捗が先行していることを意味します。



〈「未進捗」がマイナスの値を表示する画面〉

